

窓口	担当部署	産学連携推進センター	担当者	庄子 佑介
TEL	0223687037	Email:	srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	
産運HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

--

産学官連携活動について今後重点化したい事項

--

研究者数 470 人
実用化数 0 件

産学連携担当部署
実務担当者 3 名
実務者あたり研究者数 157 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士
公認会計士 | その他

URA
実務担当者 1 名
URAあたり研究者数 470 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 1 名
CDNあたり研究者数 470 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

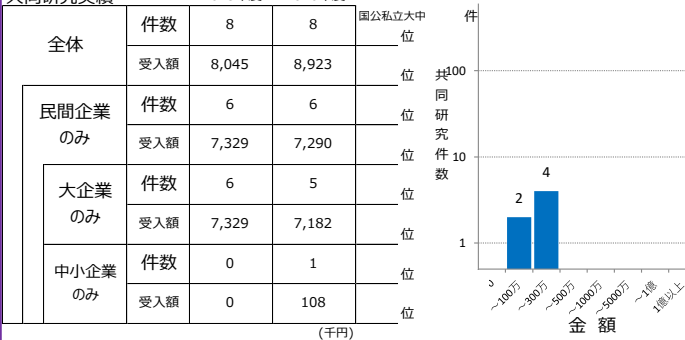
URA職務従事状況

プレアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
及びポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
ポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	1	名
研究戦略推進支援	0	名

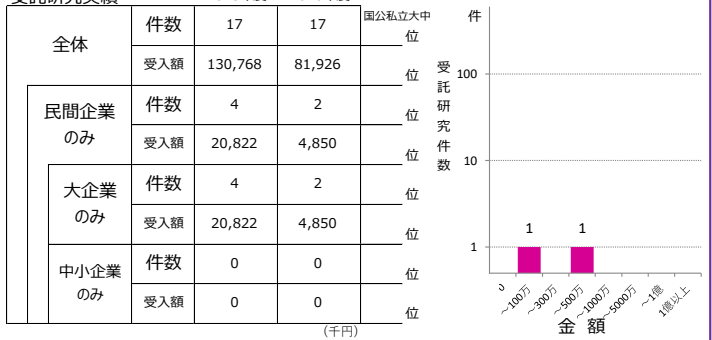
コーディネーター職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

共同研究実績



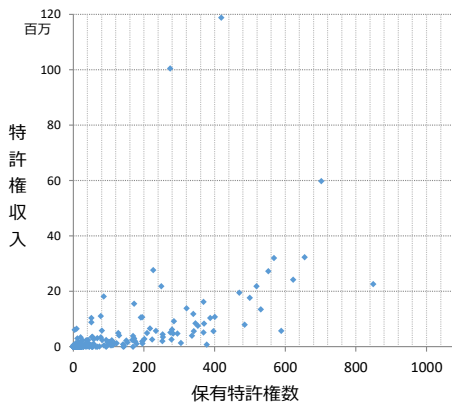
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0
2016年度に有償契約した権利	0
特許権実施等収入 (千円)	

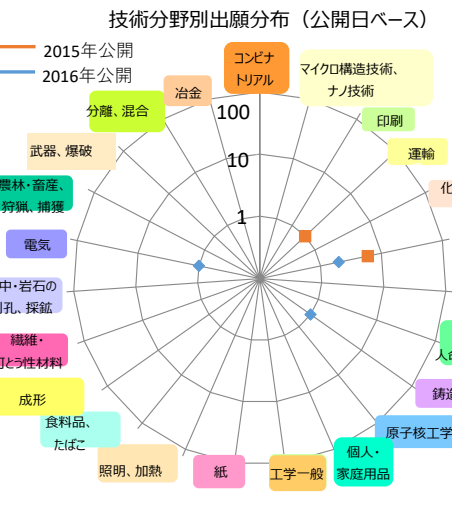


本格的な共同研究
平均(目安)交渉期間 3ヶ月
分野横断型 共同研究 _____ 件
大学役員等と定期的に見え交換する企業数 _____ 件
うち共同研究した企業 _____ 件
産学連携本部が関与した共同研究 _____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数 _____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
共同研究	受託研究	補助金	寄附金	
0	0	0	0	0

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	E02	水工、基礎、土砂の移送	1
2	H01	基本的電気素子	1



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	67	116,090	78,709	26,571			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	地域連携推進センター		担当者	竹腰 敏志
口	TEL	0116882241	Email:	kenkyu@hus.ac.jp	
	産連HP	http://www.hus.ac.jp/cooperation/ind_det/			
	シーズDB	http://labs.hus.ac.jp/			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

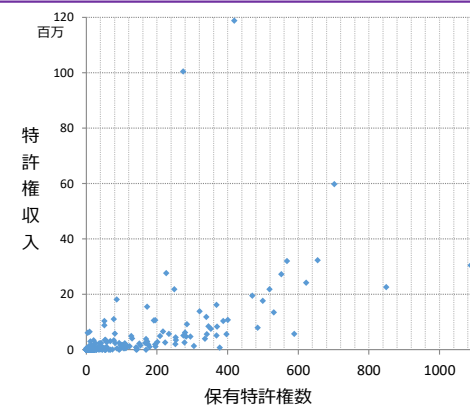
産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 185 人	実用化数 0 件	産学連携担当部署 実務担当者 名 実務者あたり研究者数 名 専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他	URA 実務担当者 0 名 URAあたり研究者数 名 URA職務従事状況 プレアワード 0 名 及び研究戦略推進支援 0 名 及びポストアワード 0 名 及び研究戦略推進支援 0 名 ポストアワード 0 名 及び研究戦略推進支援 0 名 研究戦略推進支援 0 名	コーディネーター(CDN) 実務担当者 0 名 CDNあたり研究者数 名 コーディネーター職務従事状況 知財創生 (発明相談、特許出願等) 研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等) シーズPR (イベント出展、企業訪問等) 技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等) ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析) 事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)
----------------------	--------------------	--	---	--

共同研究実績				受託研究実績						
全体	件数	2015年度	2016年度	国公立大中位	件	件数	2015年度	2016年度	国公立大中位	件
	受入額	6,308	8,808			20,221	31,358			
民間企業のみ	件数	9	10	位	100	件数	26	26	位	100
	受入額	5,958	8,808				7,882	10,472		
大企業のみ	件数	4	5	位	10	件数	12	12	位	10
	受入額	3,780	3,530				4,064	4,304		
中小企業のみ	件数	5	5	位	1	件数	14	14	位	1
	受入額	2,178	5,278				3,818	6,168		

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数	
特許保有件数		
特許権実施等件数	実施等件数あたり	
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)		



本格的な共同研究	
平均(目安) 交渉期間	1ヶ月
分野横断型 共同研究	5 件
大学役員等と定期的 に意見交換する企業数	0 件
うち共同研究した企業	0 件
産学連携本部が関与した共同研究	0 件
マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

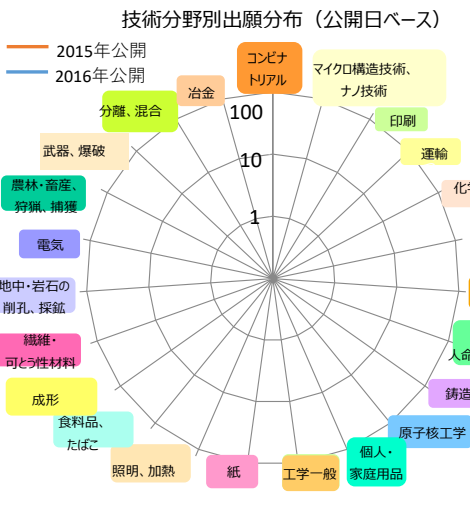
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

(参考値)

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	41	60,515	23,286	26,270			10%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローブ実績		クローブ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	可能	不可
	企業		

大学発 ベンチャー数 0 社	ベンチャー支援体制						産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
	有り	無し	有り	無し	有り	0 件	無し	有り
								円 無し

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

私立 北海道医療大学

窓口	担当部署	学術交流推進部	担当者	若木 悠太
TEL	0133231129	Email:	kyousui@hoku-iryu-u.ac.jp	
産運HP	http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~chiikirenkei/sangaku.html			
シリーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 375 人
実用化数 0 件

産学連携担当部署

実務担当者	0 名	実務者あたり研究者数	0 名
専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他			
産学連携業務分担			
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者	0 名	URAあたり研究者数	0 名
URA職務従事状況			
プレアワード			
及び研究戦略推進支援			
及びポストアワード			
及び研究戦略推進支援			
ポストアワード			
及び研究戦略推進支援			
研究戦略推進支援			

コーディネーター(CDN)

実務担当者	0 名	CDNあたり研究者数	0 名
コーディネーター職務従事状況			
知財創生 (発明相談、特許出願等)			
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)			
シリーズPR (イベント出展、企業訪問等)			
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)			
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)			
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)			

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

共同研究実績

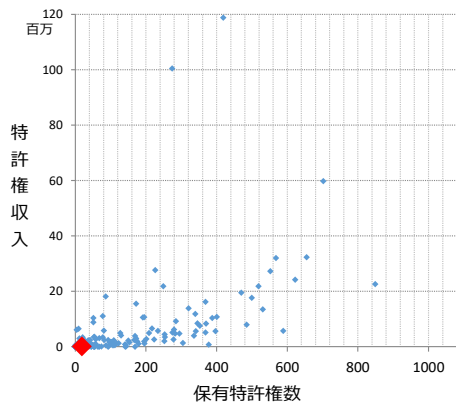
	2015年度	2016年度
全体	件数 8	件数 8
民間企業のみ	件数 8	件数 8
大企業のみ	件数 6	件数 6
中小企業のみ	件数 2	件数 2

受託研究実績

	2015年度	2016年度
全体	件数 11	件数 11
民間企業のみ	件数 10	件数 10
大企業のみ	件数 9	件数 9
中小企業のみ	件数 1	件数 1

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数	0.003
特許保有件数	19		0.051
特許権実施等件数	5	実施等件数あたり	
2016年度に収入のあった権利			10.6
2016年度に有償契約した権利	0		0.0
特許権実施等収入 (千円)	53		



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 1ヶ月

分野横断型 共同研究

大学役員等と定期的に見直しを行う企業数	0 件
うち共同研究した企業	0 件
産学連携本部が関与した共同研究	0 件
マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

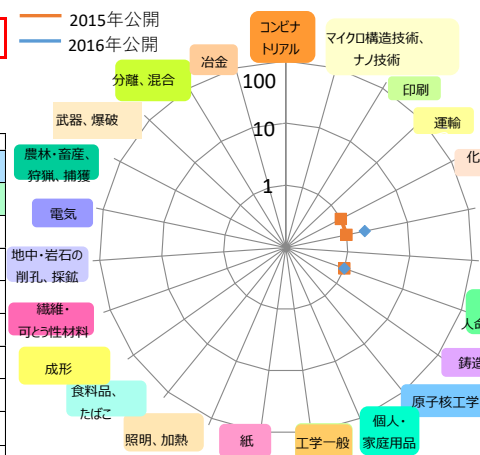
件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	1

技術分野別出願分布 (公開日ベース)



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	100	153,590	15,836	30,250	有り		10%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローバ実績		クローバ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	企業とのクローバ	
	企業	可能	不可

大学発 ベンチャー数 2 社	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		人事評価等への反映
	有り 無し	有り 無し	有り 無し	有り 無し	円 無し	インセンティブ設計無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	研究・学修支援課	担当者
口	TEL	0359813273	Email: n-shien@atlas.jwu.ac.jp
産運HP	http://www.jwu.ac.jp/unv/about/sr/property/guideline.html		
シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 393 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置 <small>弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</small></p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>プレアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネータ職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名																												
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												

共同研究実績		2015年度	2016年度	国公立大中位
全体	件数	13	9	_____ 位
	受入額	15,330	7,746	_____ 位
民間企業のみ	件数	10	8	_____ 位
	受入額	8,760	6,746	_____ 位
大企業のみ	件数	9	6	_____ 位
	受入額	7,760	6,024	_____ 位
中小企業のみ	件数	1	2	_____ 位
	受入額	1,000	722	_____ 位

受託研究実績		2015年度	2016年度	国公立大中位
全体	件数	16	17	_____ 位
	受入額	34,485	38,126	_____ 位
民間企業のみ	件数	6	7	_____ 位
	受入額	9,530	9,085	_____ 位
大企業のみ	件数	6	7	_____ 位
	受入額	9,530	9,085	_____ 位
中小企業のみ	件数	0	0	_____ 位
	受入額	0	0	_____ 位

2016年度特許出願・活用実績		研究者あたり件数
特許出願件数	_____	_____
特許保有件数	_____	_____

特許権実施等件数		実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	_____	_____
2016年度に有償契約した権利	_____	_____
特許権実施等収入 (千円)	_____	_____

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	_____	1	_____

本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 1ヶ月

分野横断型 共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

大学の得意分野とその具体例

技術分野別出願分布 (公開日ベース)

— 2015年公開 — 2016年公開

総出願数に対する割合	_____
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	86	165,887	30,691	26,568			10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローブ実績		クローブ規定		
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し	
						企業				
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		企業とのクローブ		
0	社	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	派遣	大学	可能	不可
		有り	無し	有り	無し	有り	企業			
				件		円				
						インセンティブ設計無し				

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓 口	担当部署		担当者	堤田 稔
TEL	0956392020	Email:	ga-s@niu.ac.jp	
産連HP	http://www1.niu.ac.jp/society/agreement/			
シリーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

長崎国際大学は、地域の観光・福祉・医療の水準の向上を大学の使命の一つとして位置づけ、観光・福祉・医療分野の教育研究の成果を広く社会に還元するため、産学官連携による社会貢献に積極的にかかわってまいります。

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 133 人</p> <p>実用化数 0 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 名</p> <p>実務者あたり研究者数 名</p> <p>専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>URAあたり研究者数 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <p>プレアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>及びポストアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>ポストアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>研究戦略推進支援 名</p>	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 2 名</p> <p>CDNあたり研究者数 67 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <p>知財創生 (発明相談、特許出願等)</p> <p>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</p> <p>シリーズPR (イベント出展、企業訪問等)</p> <p>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</p> <p>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</p> <p>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</p>
-----------------------------------	---	--	---

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱規程、ポリシー	

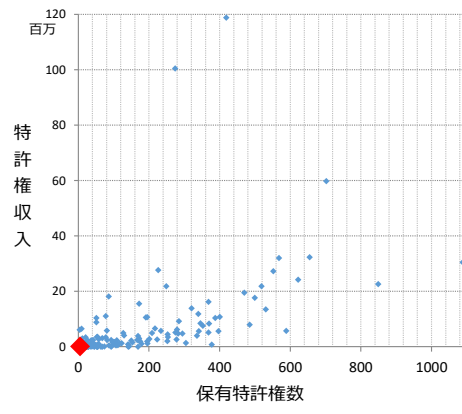
共同研究実績	2015年度	2016年度	国公立大中位
全体	件数 2	3	位
民間企業のみ	件数 2	2	位
大企業のみ	件数 1	0	位
中小企業のみ	件数 1	2	位
受入額	2,350	7,600	位
受入額	2,350	1,100	位
受入額	1,000	0	位
受入額	1,350	1,100	位

受託研究実績

共同研究実績	2015年度	2016年度	国公立大中位
全体	件数 13	7	位
民間企業のみ	件数 4	3	位
大企業のみ	件数 1	0	位
中小企業のみ	件数 3	3	位
受入額	23,915	11,150	位
受入額	3,640	3,600	位
受入額	540	0	位
受入額	3,100	3,600	位

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数 0.000
特許保有件数	5	0.038
特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業		件
産学連携本部が関与した共同研究	0	件
マッチングを行い、契約締結した件数		件

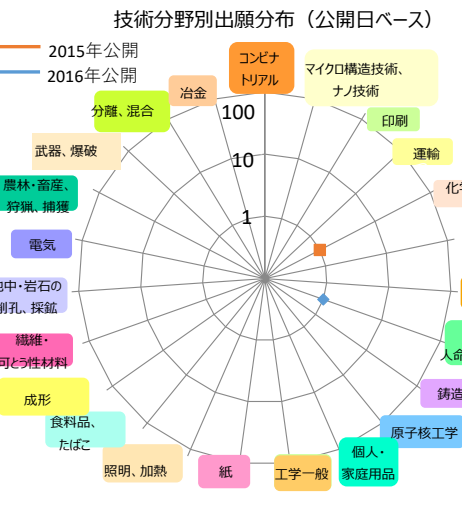
特許出願に関する発明のもととなった研究

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	3	2		

出願数上位技術分野 (2016年公開)

総出願数に対する割合	
受入額比	3,717 千円/件

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	1



大学の得意分野とその具体例

地元産品 (お茶) を使った地場ホテルと商品開発

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	32	32,042	15,285	22,818			割合は定めていない

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアポ実績		クロアポ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
大学発 ベンチャー数	1 社	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		企業	企業とのクロアポ
		相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	派遣	可能	不可
		有り	無し	有り	無し	有り	企業		

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

嬉野茶・紅茶を使った商品開発

本件連絡先

機関名	長崎国際大学	部署名	健康管理学部	TEL	0956-39-2020	E-mail	ga-s@niu.ac.jp
-----	--------	-----	--------	-----	--------------	--------	----------------

概要

この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

ハウステンポス内のホテルにて、地元の産物である嬉野和紅茶を用いた商品を綿密な連携と協力により、互いの「知」と「技」を活かし、地域特産物等を用いた魅力ある商品を共同で研究・開発することで、相互のブランド、商品開発力、教育研究能力の向上、および地域の発展の寄与が求められている。

成果

長崎国際大学とウォーターマークホテル長崎は、共同研究により嬉野和紅茶を利用した新しい食品開発(嬉野和紅茶を使用した人口いらいら)及びレシピ開発(嬉野和紅茶ラスク、嬉野和紅茶スイーツ)を行い、これにより地元の話題を呼び、消費拡大の一助を担っている。

実用化まで至ったポイント、要因

ウォーターマークホテル長崎からの依頼に基づき、長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科がメニュー開発および商品開発を行い、仕上がった提案品を「ウォーターマークホテル長崎が試食し、ラスクと和紅茶スイーツについては製造ラインにのせられるよう製造法を再検討し、和紅茶を用いた人工いらいらについてはそれを利用したメニュー(バナナコッタ)を作り、商品として販売している。

研究開発のきっかけ

ウォーターマークホテル長崎が、地域に設立された大学に嬉野和紅茶を使用した開発を依頼したことがきっかけであった。

民間企業等から大学等に求められた事項

商品開発の円滑な実施や課題、改善点の確認、評価のために、意見聴取や実地調査、プレゼンテーションの機会を設けて、大学が開発した食品の商品化の検討を行う。また、商品についてのメニューは大学でつける。

技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

ファンディング、表彰等
参考URL
<http://watermarkhotelnagasaki.com/ja/pressrelease/index.html>



本件連絡先

機関名	長崎国際大学	部署名	総務課	TEL	0956-39-2020	E-mail	ga-s@niu.ac.jp
-----	--------	-----	-----	-----	--------------	--------	----------------

組織的産学官連携活動における取組方針等

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))

産学官連携活動について今後重点化したい事項

長崎国際大学産学官連携ポリシー、長崎国際大学知的財産ポリシーを制定して、地域の産学官連携の取組方針としている。

①得意分野:観光分野、福祉分野、健康栄養分野、薬分野
②小規模であるが、2010年以来発明等委員会を設置して、特許出願の支援を行っている。現在、薬学、および健康栄養関係の特許21件(移転続き中を含む)を保有している。

大学のもつ知を活用するため、研究者の派遣、受入、及び双方の施設を使った共同研究の推進等を図っていくたい。

地域に所在するホテルとの新商品開発

体制図等

朝ドリンク提供

↑ 商品利用 ↓

↑ 開発依頼 ↓

↑ 研究担当 ↓

ウォーターマークホテル長崎

長崎国際大学
健康管理学部健康栄養学科

↑ 開発依頼 ↓

↑ 研究担当 ↓

食品商品開発系
ゼミナール

↑ 商品利用 ↓

↑ 開発依頼 ↓

↑ 研究担当 ↓

地域貢献並びに研究活動の活発化のため、隣接するハウステンポスに所在するホテルと本学健康管理学部健康栄養学科の研究者がホテルの朝食バイキングのデザートおよび朝食バイキングに提供する機能性ドリンクの共同開発を行った。

本取組を実施することになったきっかけ、要因

ホテル側より共同開発の申し入れがあり、本学も地域貢献並びに研究活動の活発化のため受入れた。

本取組の目的(どのような課題解決を目指しているか)

地域食材を使用した商品開発

本取組を立案する際に、特に注意した点

野菜やフルーツを使用したドリンクで、材料費は100円以下とする。

提供時期は7~8月で夏期に適した効能や機能性のあるもの

食欲減退させるもの、時間経過による品質低下が起こりやすいものは避ける

平成28年度に実施した内容

平成27年度に行ったホテルデザート開発品の朝食バイキングでの提供開始及び、平成29年度にホテルで提供する朝食バイキングの1品としての機能性ドリンク(コールドプレスジュース)の開発

従来の取組との違いや特徴

従来のホテルより地域食材の指定がそれぞれに合わせてデザートを開発を行ったが、今回は、産学官連携を軸とした開発商品を開発し、健康や食生活の持つ作用を取り入れた機能性ドリンクの開発となった。また、開発品は、ホテルの食事提供関係者の前で機能効用についてプレゼンテーションを行い、開発品についての詳細な説明を行った。

目指している成果(成果指標等)

開発したメニューをホテルのバイキングメニューとして採用され、ホテル利用者から高い評価を得ること。

今後の展開や市場規模、シェア等(例:〇年後に年間〇〇個の製造・販売を目指しています。〇〇に活用するべき重要な研究を行っています)

今後、採用メニューの提供状況及び消費者の評価によって、さらなるメニュー導入を行い、1年を通して提案メニューが提供されるよう目指す。

ファンディング、表彰等(〇〇の支援を受けました、〇〇県の表彰を受けました)

参考URL(企業、大学、ファンディング機関、表彰機関による研究紹介やプレス等)

<https://watermarkhotelnagasaki.com/ja/blog/restaurant/2169>

<https://watermarkhotelnagasaki.com/ja/restaurant/breakfast.html>

<https://watermarkhotelnagasaki.com/ja/blog/restaurant/2705>

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 _____ 人
実用化数 _____ 件

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携担当部署

実務担当者 名 _____

実務者あたり研究者数 _____ 名

専門性を有する者の配置
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者 名 _____

URAあたり研究者数 _____ 名

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
及びポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
研究戦略推進支援	_____ 名

コーディネーター(CDN)

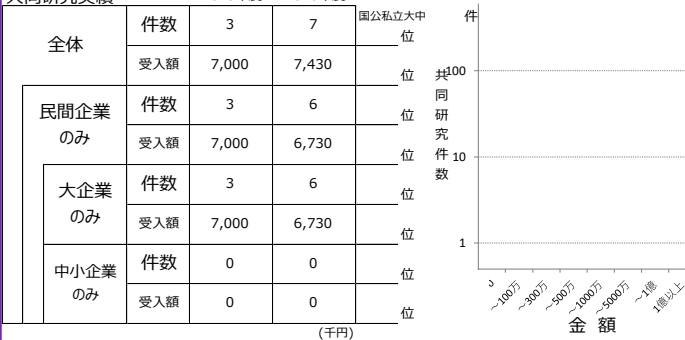
実務担当者 名 _____

CDNあたり研究者数 _____ 名

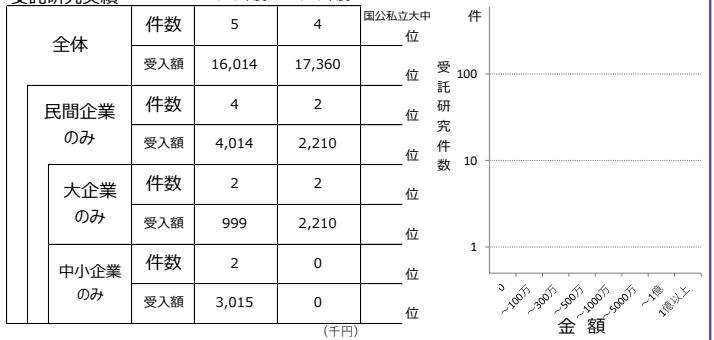
コーディネータ職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)

共同研究実績



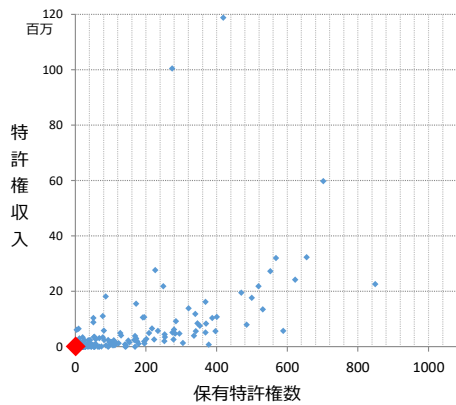
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	1	_____

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		_____
2016年度に有償契約した権利		_____
特許権実施等収入 (千円)	0	_____



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 _____ 件

分野横断型共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的
に意見交換する企業数 _____ 件

うち共同研究した企業 _____ 件

産学連携本部が関与した共同研究 _____ 件

マッチングを行い、契約締結した件数 _____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

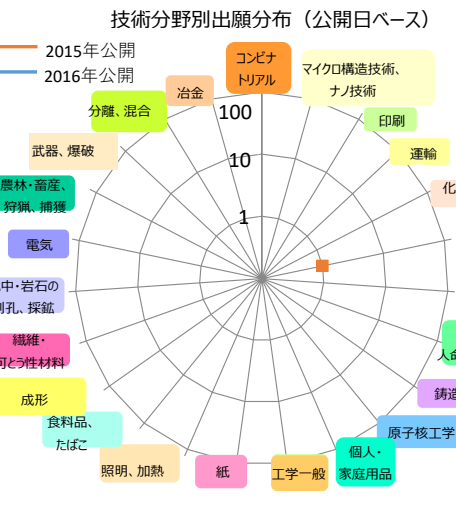
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
_____ 件	_____ 件	_____ 件	_____ 件

(参考値)

総出願数に対する割合	_____
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					割合は定めていない

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアボ実績		クロアボ規定		
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他		受入	大学	有り	無し
							企業			
							派遣	大学	企業とのクロアボ	
							企業	可能	不可	

大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ					
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し
									インセンティブ設計無し	

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	知的財産戦略室	担当者	中林 稔晴
口	TEL	0227173329	Email:	nakab@tfu-mail.tfu.ac.jp
産連HP	https://www.tfu.ac.jp/research/index.html			
シーズDB	https://www.tfu.ac.jp/education/professors.html			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

--

--

研究者数 255 人 実用化数 0 件

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携担当部署

実務担当者 0 名

実務者あたり研究者数

専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

産学連携業務分担

担当部署等	産学連携業務分担		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者 名

URAあたり研究者数 名

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

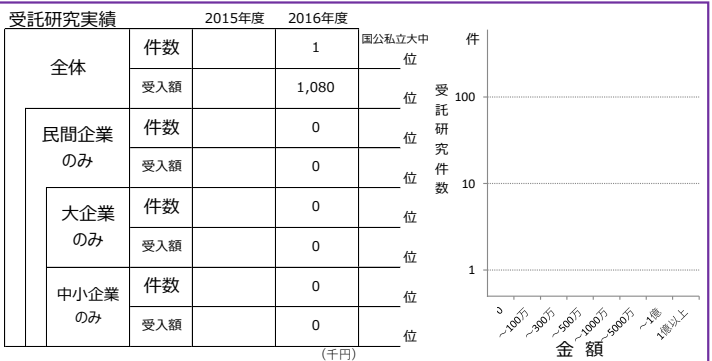
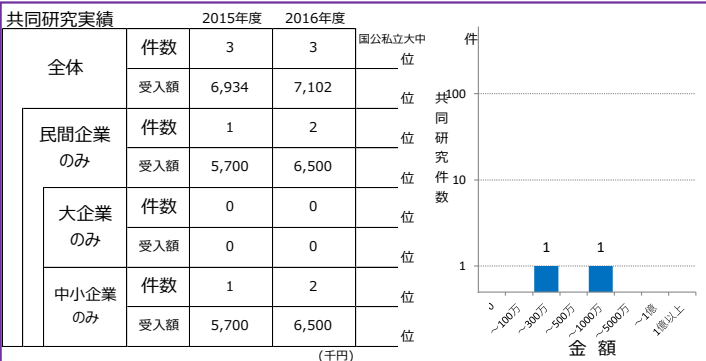
コーディネーター(CDN)

実務担当者 名

CDNあたり研究者数 名

コーディネーター職務従事状況

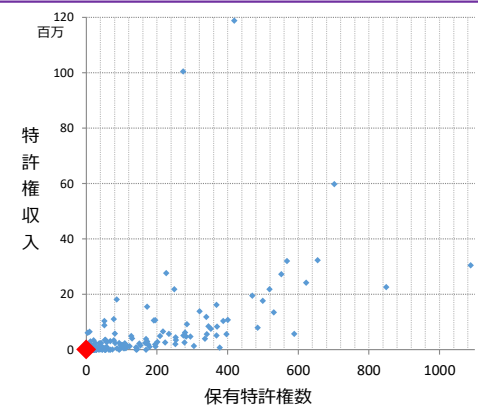
知財創生 (発明相談、特許出願等)
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	3	研究者あたり件数 0.012
特許保有件数	0	0.000

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

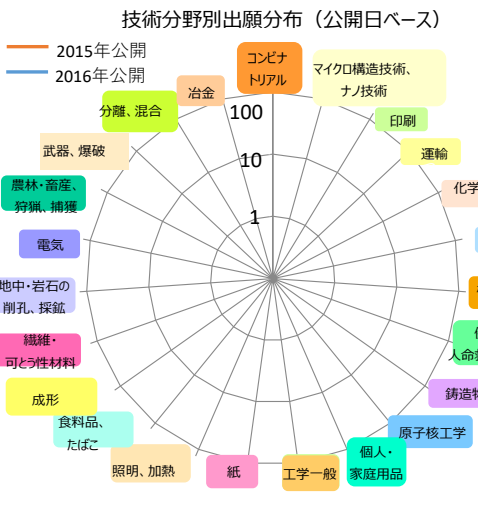
平均(目安)交渉期間 1年

分野横断型 共同研究 1件

大学役員等と定期的に見直しを行う企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究				受託研究				補助金				寄附金			
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金	共同研究	受託研究	補助金	寄附金	共同研究	受託研究	補助金	寄附金	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)																
総出願数に対する割合																
受入額比																



出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数

大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	55	5,786,547	561,038	7,477,740			25%以上30%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローブ実績		クローブ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	企業とのクローブ	
	企業	可能	不可

大学発 ベンチャー数 社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

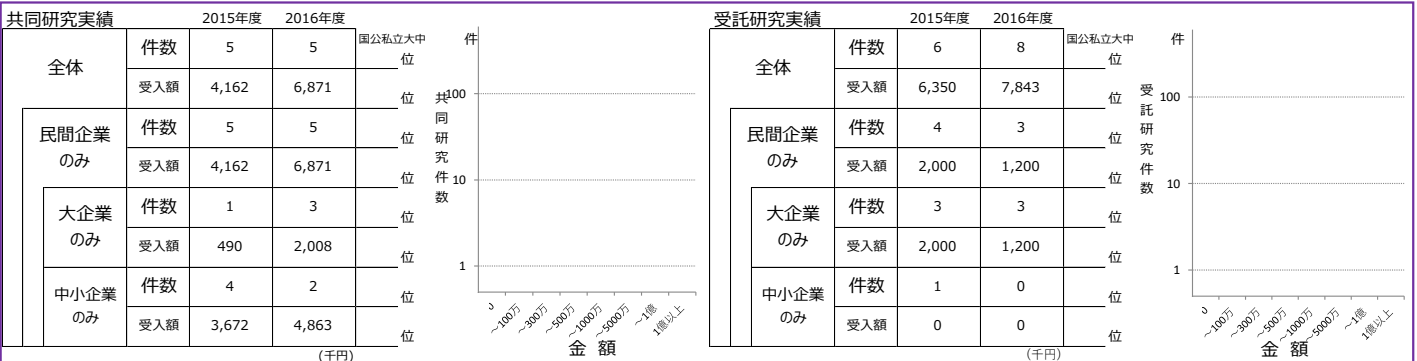
私立 同志社女子大学

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置 <small>弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</small></p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名																												
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												



2016年度特許出願・活用実績		研究者あたり件数
特許出願件数	0	_____
特許保有件数	3	_____

特許権実施等件数		実施等件数あたり
特許権実施等件数	2	_____
2016年度に収入のあった権利		_____
2016年度に有償契約した権利		_____
特許権実施等収入 (千円)	72	36.0

本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 _____ 件

分野横断型共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数 _____ 件

うち共同研究した企業 _____ 件

産学連携本部が関与した共同研究 _____ 件

マッチングを行い、契約締結した件数 _____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド				
有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り		円	無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者	市川 肇
TEL	0424958624	Email:	kenkyu@my-pharm.ac.jp
産連HP			
シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 110 人
実用化数 0 件

産学連携担当部署
実務担当者 1 名
実務者あたり研究者数 110 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士
公認会計士 | その他

URA
実務担当者 0 名
URAあたり研究者数 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 0 名
CDNあたり研究者数 名

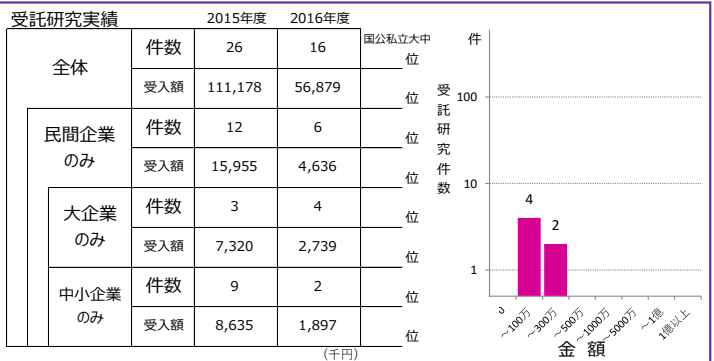
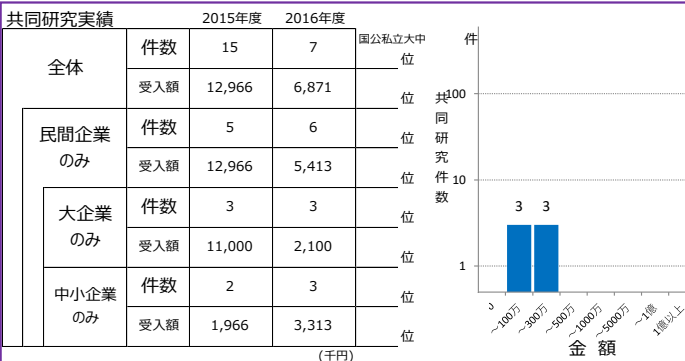
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

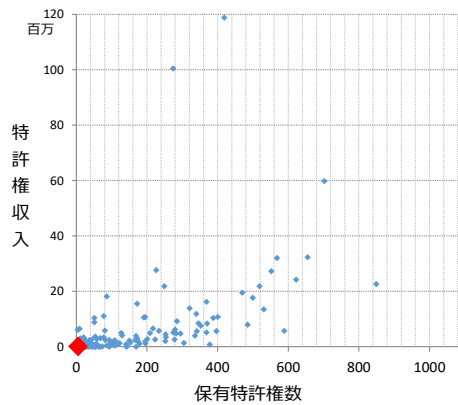
コーディネータ職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数 0.009
特許保有件数	5	0.045

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究

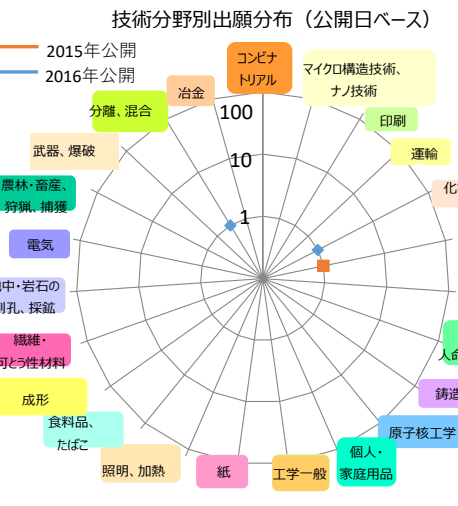
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	1	0	0	0

(参考値)

総出願数に対する割合	1	0	0	0
受入額比	6,871			千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	B01	物理的・化学的方法または装置一般	1
1	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	1



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	40	56,907	51,202	10,050			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	教育研究支援センター事務部教育研究支援課	担当者	牧 幸男
口	TEL	0455808317	Email:	kyoken@tsurumi-u.ac.jp
産連HP	http://www.tsurumi-u.ac.jp/about/seeds_index.html			
シーズDB	https://rams.manage.spcloud.jp/perfman/teachers/fullTextSearch			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 実用化数
257人 0件

産学連携担当部署		
実務担当者	実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置
名	名	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

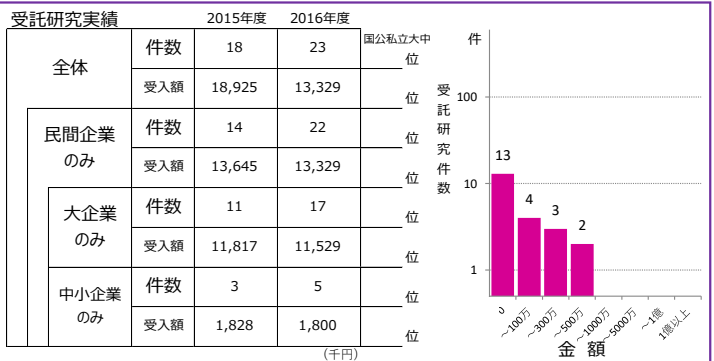
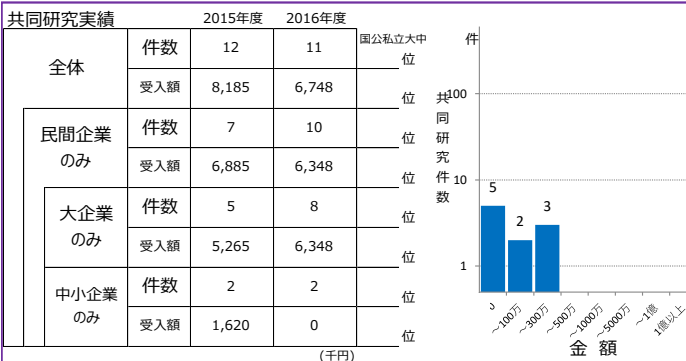
URA		実務担当者	URAあたり研究者数
		0名	名

URA職務従事状況		名
プレアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
及びポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
ポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
研究戦略推進支援	0	名

コーディネーター (CDN)		実務担当者	CDNあたり研究者数
		0名	名

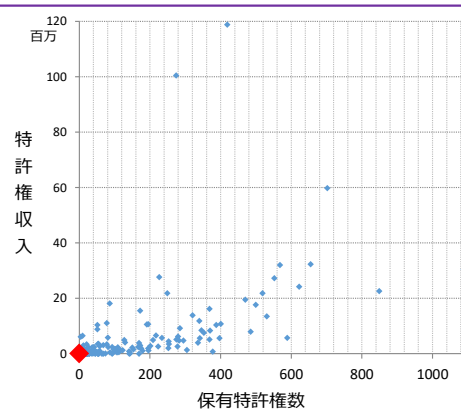
コーディネーター職務従事状況		名
知財創生 (発明相談、特許出願等)		
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		
シーズPR (イベント出席、企業訪問等)		
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)		

各種規程類の整備状況
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績		研究者あたり件数
特許出願件数	2	0.008
特許保有件数	0	0.000

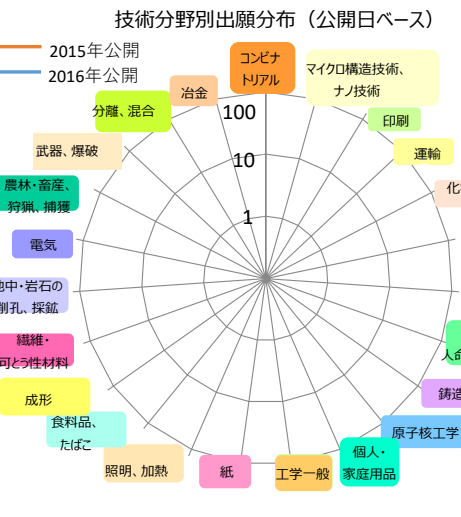
特許権実施等件数		実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究		件
平均(目安) 交渉期間 1ヶ月	分野横断型 共同研究	件
大学役員等と定期的に見聞交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究	0	件
マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
共同研究	受託研究	補助金	寄附金	件数

出願数上位技術分野 (2016年公開)				
順位	IPC	分野	件数	



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	0	0	0	0			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
0 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

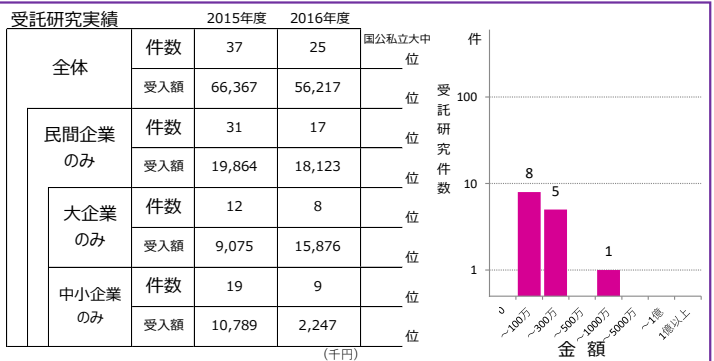
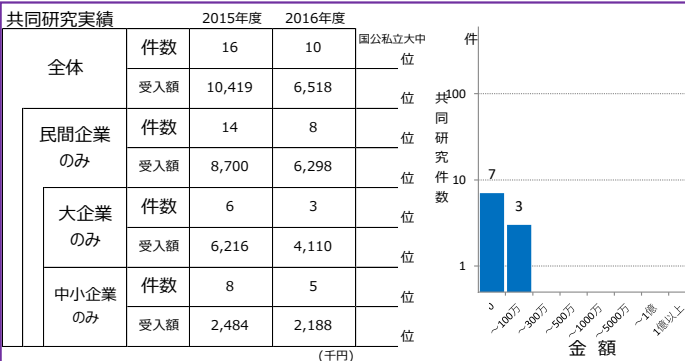
組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	教育研究支援課	担当者	山口 泰夫
TEL	0462429964	Email:	er-support@office.t-kougei.ac.jp	
産連HP	https://www.t-kougei.ac.jp/activity/research			
シーズDB	https://portal.kougei.net/kg/japanese/			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

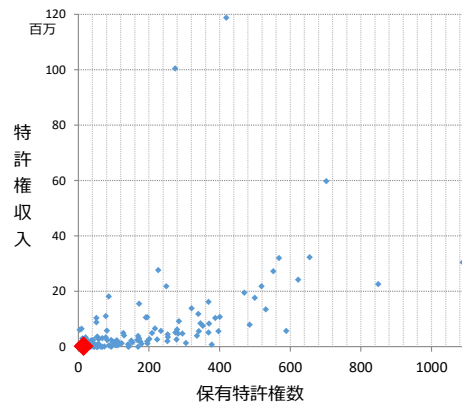
<p>研究者数 150 人</p> <p>実用化数 1 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 3 名</p> <p>実務者あたり研究者数 50 名</p> <p>専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 名</p> <p>URAあたり研究者数 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> </table>	プレアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	及びポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	ポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	研究戦略推進支援	名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 名</p> <p>CDNあたり研究者数 名</p> <p>コーディネータ職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td></td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td></td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td></td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td></td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td></td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td></td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)		研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		シーズPR (イベント出展、企業訪問等)		技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)													
プレアワード	名																																								
及び研究戦略推進支援	名																																								
及びポストアワード	名																																								
及び研究戦略推進支援	名																																								
ポストアワード	名																																								
及び研究戦略推進支援	名																																								
研究戦略推進支援	名																																								
知財創生 (発明相談、特許出願等)																																									
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)																																									
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)																																									
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)																																									
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)																																									
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)																																									
<p>各種規程類の整備状況</p> <table border="1"> <tr><td>産学連携ポリシー</td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td></tr> <tr><td>株式の取扱等規程、ポリシー</td></tr> </table>	産学連携ポリシー	知的財産ポリシー	共同研究取扱規程	受託研究取扱規程	研究成果有体物取扱規程	職務発明規程 (教職員のみ対象)	発明補償関係規程 (教職員、学生)	守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	営業秘密管理に関する規程	株式の取扱等規程、ポリシー	<p>産学連携業務分担</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">産学連携業務分担</th> <th colspan="3">担当部署等</th> </tr> <tr> <th>産連本部</th> <th>他部署</th> <th>外部委託</th> </tr> <tr><td>共同研究等の企画・提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	産学連携業務分担	担当部署等			産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案				契約書での成果目標、達成時の明記				共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)				共同研究の進捗管理とフィードバック				企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案					
産学連携ポリシー																																									
知的財産ポリシー																																									
共同研究取扱規程																																									
受託研究取扱規程																																									
研究成果有体物取扱規程																																									
職務発明規程 (教職員のみ対象)																																									
発明補償関係規程 (教職員、学生)																																									
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																																									
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																																									
営業秘密管理に関する規程																																									
株式の取扱等規程、ポリシー																																									
産学連携業務分担	担当部署等																																								
	産連本部	他部署	外部委託																																						
共同研究等の企画・提案																																									
契約書での成果目標、達成時の明記																																									
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																																									
共同研究の進捗管理とフィードバック																																									
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案																																									



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数 0.007
特許保有件数	15	0.100

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	108	108.0



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 1ヶ月

分野横断型 共同研究 1 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究	0	件
マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願に関する発明のもととなった研究

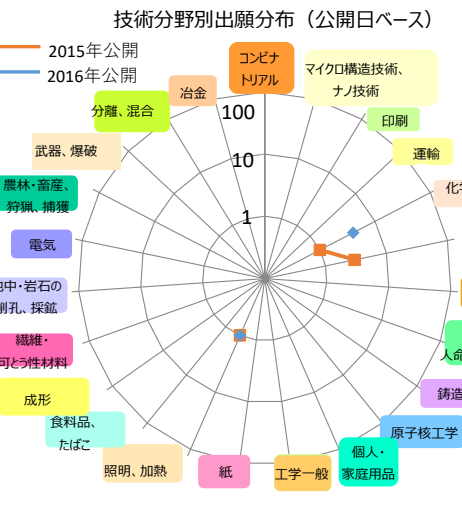
件数	共同研究			
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
1				

総出願数に対する割合 1

受入額比 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C08	有機高分子化合物等	3
2	C09	染料、ペイント、フヤ出し、天然樹脂、接着剤等	1
2	F24	加熱、レンジ、換気	1



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	18	33,930	71,426	32,309			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

大学発
ベンチャー数
1 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者		中山 裕嗣
TEL	0745541602	Email:	soumu@kio.ac.jp	
産連HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

[Empty box for university policy]

[Empty box for activity focus]

研究者数 125 人
実用化数 _____ 件

産学連携担当部署
実務担当者 2 名
実務者あたり研究者数 63 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士
公認会計士 | その他

URA
実務担当者 _____ 名
URAあたり研究者数 _____ 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 _____ 名
CDNあたり研究者数 _____ 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱規程、ポリシー	

産学連携業務分担

	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに合わせた技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況

名前	名
プレアワード	
及び研究戦略推進支援	
及びポストアワード	
及び研究戦略推進支援	
ポストアワード	
及び研究戦略推進支援	
研究戦略推進支援	

コーディネーター職務従事状況

名前	名
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

共同研究実績

2015年度 2016年度

全体	件数	国公立大中位		件数
		2015年度	2016年度	
受入額	9	5,293	6,512	6
民間企業のみ	件数	8	9	3
受入額	件数	5,293	6,512	3
大企業のみ	件数	2	3	3
受入額	件数	1,000	2,700	3
中小企業のみ	件数	6	6	3
受入額	件数	4,293	3,812	3

(千円)

受託研究実績

2015年度 2016年度

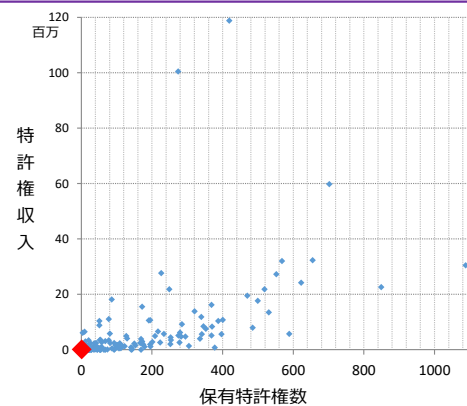
全体	件数	国公立大中位		件数
		2015年度	2016年度	
受入額				
民間企業のみ	件数			
受入額	件数			
大企業のみ	件数			
受入額	件数			
中小企業のみ	件数			
受入額	件数			

(千円)

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数 0.000
特許保有件数	1	0.008

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的 に意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

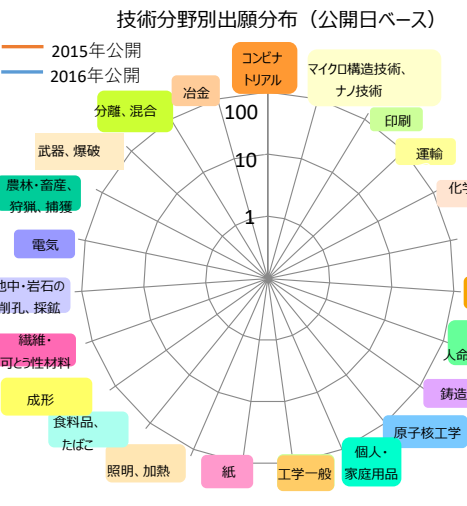
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	2	0	0	0

(参考値)

総出願数に対する割合	
受入額比	3,256 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

[Empty box for specific examples]

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	39	57,980					10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クオアボ実績		クオアボ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制		産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクオアボ	
		相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		企業	可能	不可
		有り	無し	有り	件	有り	企業		
					円	無し			
						人事評価等への反映			
						インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

檀原市・檀原商工会議所連携 檀原産イチゴを使った新商品 開発マッチング事業							
本件連絡先							
機関名	畿央大学	部署名	教育推進部	TEL	0745-54-1601	E-mail	gakushin@kio.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>檀原市経済の活性化および歴史・文化の発信が求められている。</p> <p>・成果</p> <p>檀原市と檀原商工会議所との連携による地産食材「イチゴ」を使ったメニューを開発し、地元飲食店とのマッチングにより7作品が6つの店舗で販売された。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>自治体、商工会議所との連携によるレシピ開発を実際に販売することを前提に取り組み、飲食店とのマッチングに成功し、産学官連携の商品化に繋がった。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>奈良県檀原市の「ふるさと名物」として「古代大和・飛鳥の歴史」をモチーフに企業(事業所)とともに新商品・新サービス開発を行なう。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>檀原産いちご(古都華、あすカルビー)を使って、檀原市の特徴を生かしたオリジナルティ溢れる「ふるさと名物」のレシピを開発すること。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>実際に商品として販売することを前提としているため、参画する学生のモチベーションは非常に高い。また、アクティブラーニングとして高い教育効果を得ている。</p>				 <p>「苺と生ハムのクリームパスタ」</p>  <p>「古代チーズとイチゴのぶるさくタルト」</p>  <p>「大和三山の秘宝」</p>  <p>「飛鳥の秘宝」</p>			
				<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p>			

窓	担当部署	学術研究推進機構	担当者	林田 純一
口	TEL	0926735488	Email:	sangaku@ml.kyusan-u.ac.jp
産運HP	http://www.kyusan-u.ac.jp/research/			
シーズDB	大学HP (教員紹介) : http://ras.kyusan-u.ac.jp/scripts/professor/index.htm			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 348 人
実用化数 5 件

産学連携担当部署
実務担当者 10 名
実務者あたり研究者数 35 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士
公認会計士 | その他

URA
実務担当者 1 名
URAあたり研究者数 348 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 0 名
CDNあたり研究者数

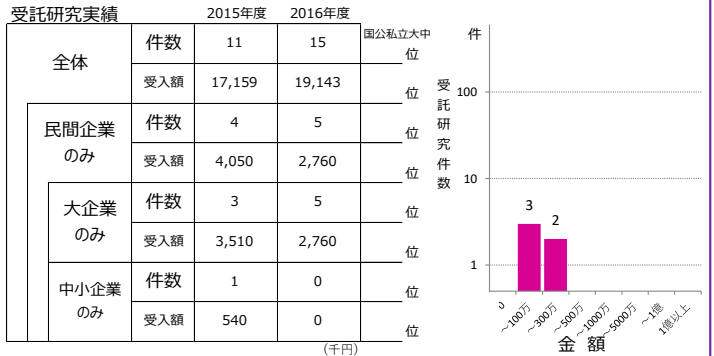
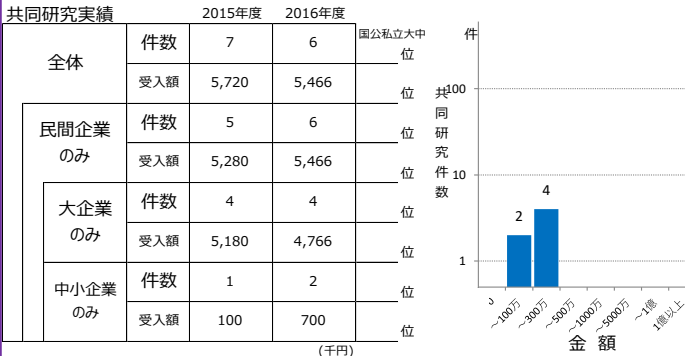
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況	
プレアワード	1 名
及び研究戦略推進支援	
及びポストアワード	1 名
及び研究戦略推進支援	
ポストアワード	
及び研究戦略推進支援	
研究戦略推進支援	

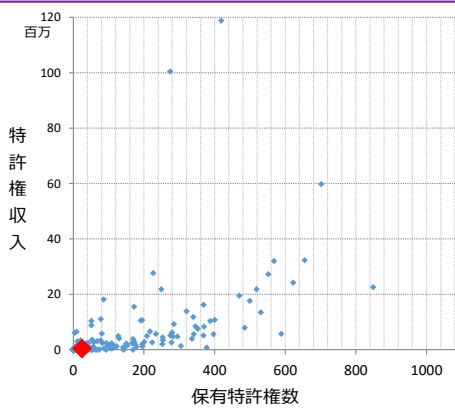
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数 0.003
特許保有件数	25	0.072

特許権実施等件数	6	実施等件数あたり 1.0
2016年度に収入のあった権利	6	0.3
2016年度に有償契約した権利	2	59.7
特許権実施等収入 (千円)	358	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 1 件

大学役員等と定期的に見学交換する企業数	14 件
うち共同研究した企業	1 件

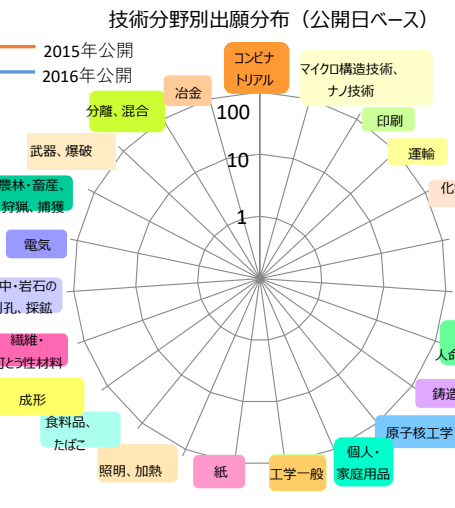
産学連携本部が関与した共同研究	6 件
マッチングを行い、契約締結した件数	1 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	56	64,870	27,370	22,814			10%以上15%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローブ実績		クローブ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	可能	不可
	企業		

大学発 ベンチャー数 0 社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	インセンティブ設計無し	

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	担当者
TEL		Email:
産運HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 _____ 人 実用化数 _____ 件

産学連携担当部署

実務担当者 名 実務者あたり研究者数 名

専門性を有する者の配置
 弁護士 | 弁理士 | 税理士
 公認会計士 | その他

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者 名 URAあたり研究者数 名

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)

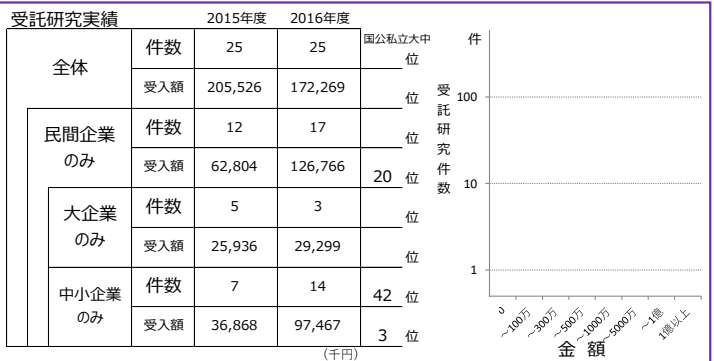
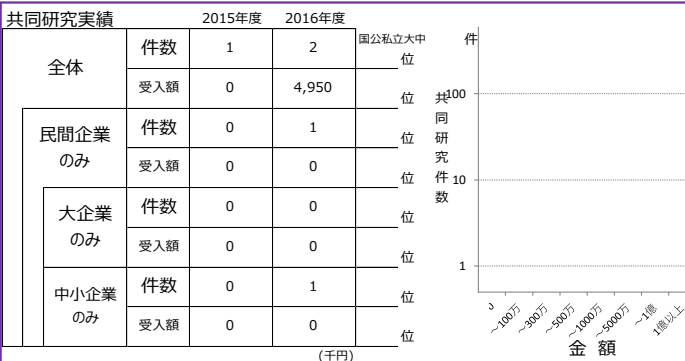
実務担当者 名 CDNあたり研究者数 名

コーディネーター職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名

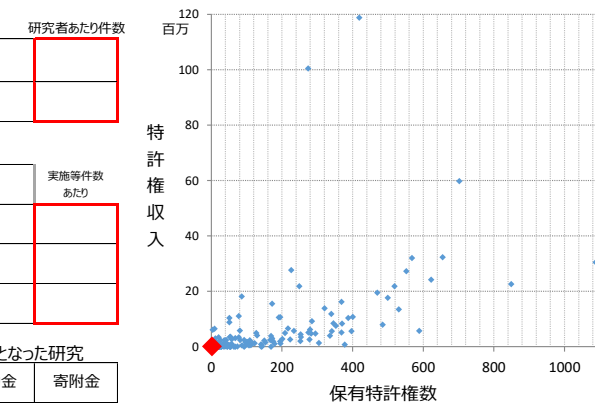
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	2	研究者あたり件数
特許保有件数	2	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 _____ 件

分野横断型 共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的に見直しを行う企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許権実施等件数

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	

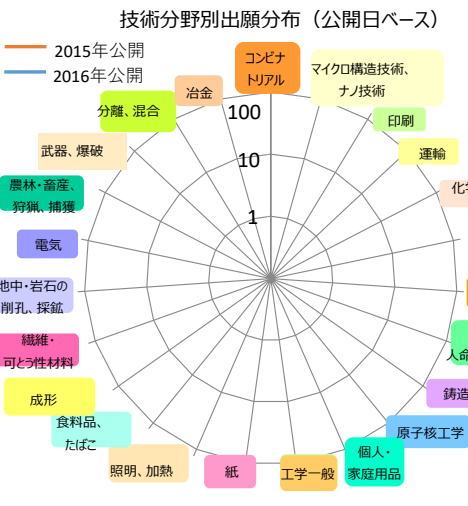
特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

出願数上位技術分野 (2016年公開)

総出願数に対する割合				
受入額比				千円/件

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローバ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローバ規定

有り	無し
企業とのクローバ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	教育研究事業部 事業推進グループ	担当者	竹内 達徳
口	TEL	0353404646	Email:	apgs@venus.joshibi.jp
産連HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 120 人
実用化数 0 件

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携担当部署

実務担当者	実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他
名	名	名

産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者	URAあたり研究者数
0 名	名

URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)

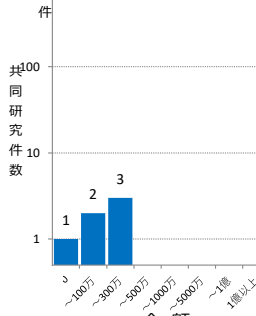
実務担当者	CDNあたり研究者数
0 名	名

コーディネータ職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)

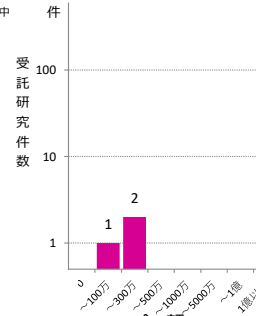
共同研究実績

全体	2015年度		2016年度		国公立大中位
	件数	受入額	件数	受入額	
7	3,827	7	4,924	位	
民間企業のみ	6	2,747	6	3,844	位
大企業のみ	6	2,747	4	3,000	位
中小企業のみ	0	0	2	844	位



受託研究実績

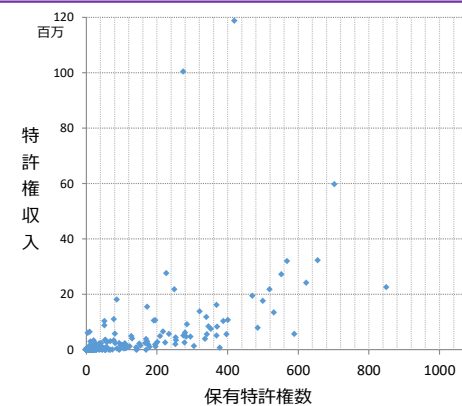
全体	2015年度		2016年度		国公立大中位
	件数	受入額	件数	受入額	
10	28,007	12	45,703	位	
民間企業のみ	2	1,575	3	3,876	位
大企業のみ	0	0	1	2,052	位
中小企業のみ	2	1,575	2	1,824	位



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0
2016年度に有償契約した権利	0
特許権実施等収入 (千円)	

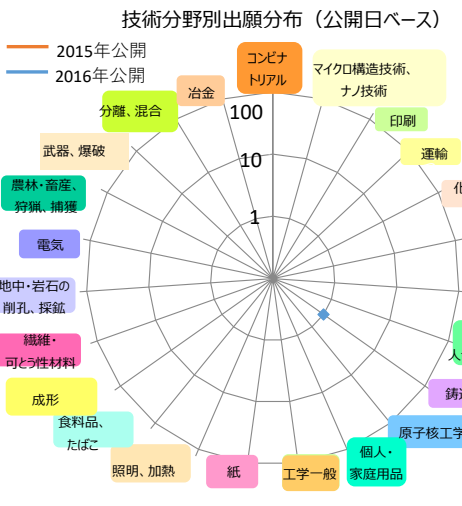


本格的な共同研究
平均(目安) 交渉期間 3ヶ月
分野横断型 共同研究 件
大学役員等と定期的に見え交換する企業数 件
うち共同研究した企業 0 件
産学連携本部が関与した共同研究 件
マッチングを行い、契約締結した件数 0 件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数
1	E06	戸、窓、シャッター、ローラブラインド一般、はしご	1



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	5	750					25%以上30%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

大学発
ベンチャー数
0 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

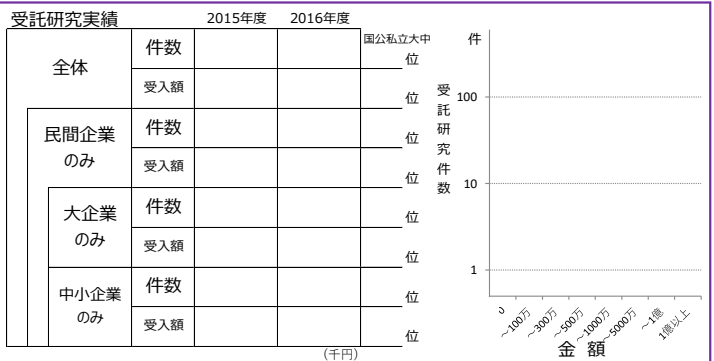
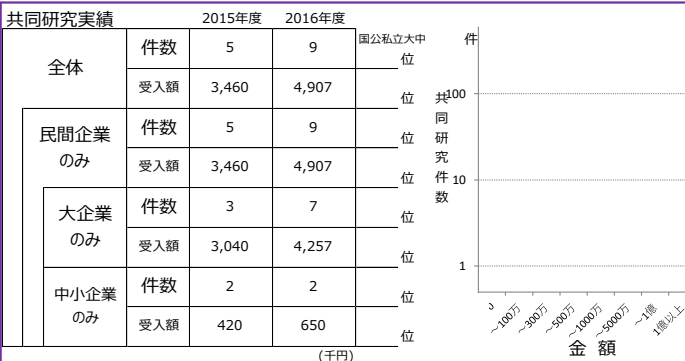
組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

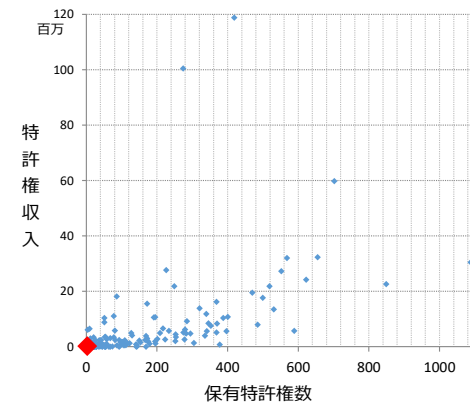
産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <p>プレアワード _____ 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 _____ 名</p> <p>及びポストアワード _____ 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 _____ 名</p> <p>ポストアワード _____ 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 _____ 名</p> <p>研究戦略推進支援 _____ 名</p>	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <p>知財創生 (発明相談、特許出願等)</p> <p>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</p> <p>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</p> <p>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</p> <p>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</p> <p>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</p>																																																	
<p>各種規程類の整備状況</p> <table border="1"> <tr><td>産学連携ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td><td></td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td><td></td></tr> <tr><td>株式の取扱規程、ポリシー</td><td></td></tr> </table>	産学連携ポリシー		知的財産ポリシー		共同研究取扱規程		受託研究取扱規程		研究成果有体物取扱規程		職務発明規程 (教職員のみ対象)		発明補償関係規程 (教職員、学生)		守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)		守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)		営業秘密管理に関する規程		株式の取扱規程、ポリシー		<p>産学連携業務分担</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">産学連携業務分担</th> <th colspan="3">担当部署等</th> </tr> <tr> <th>産連本部</th> <th>他部署</th> <th>外部委託</th> </tr> <tr><td>共同研究等の企画・提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	産学連携業務分担	担当部署等			産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案				契約書での成果目標、達成時の明記				共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)				共同研究の進捗管理とフィードバック				企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案					
産学連携ポリシー																																																				
知的財産ポリシー																																																				
共同研究取扱規程																																																				
受託研究取扱規程																																																				
研究成果有体物取扱規程																																																				
職務発明規程 (教職員のみ対象)																																																				
発明補償関係規程 (教職員、学生)																																																				
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																																																				
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																																																				
営業秘密管理に関する規程																																																				
株式の取扱規程、ポリシー																																																				
産学連携業務分担	担当部署等																																																			
	産連本部	他部署	外部委託																																																	
共同研究等の企画・提案																																																				
契約書での成果目標、達成時の明記																																																				
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																																																				
共同研究の進捗管理とフィードバック																																																				
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案																																																				



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	3	
特許権実施等件数	3	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	112	37.3



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 _____ 件

分野横断型共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的
に意見交換する企業数 _____ 件

うち共同研究した企業 _____ 件

産学連携本部が関与した共同研究 _____ 件

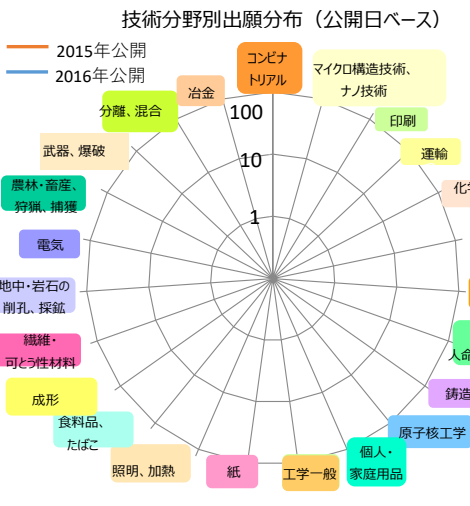
マッチングを行い、契約締結した件数 _____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	特許出願に関する発明のもととなった研究			
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				
総出願数に対する割合				
受入額比				千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

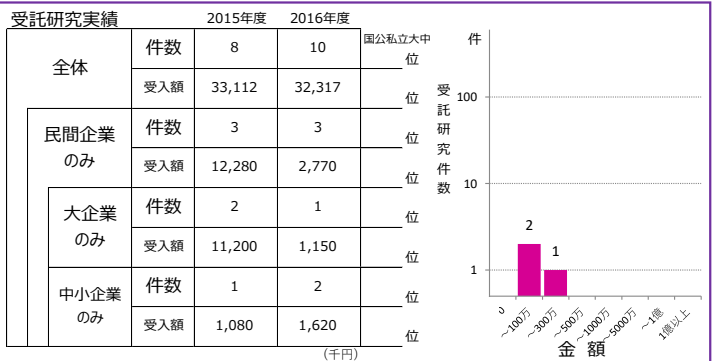
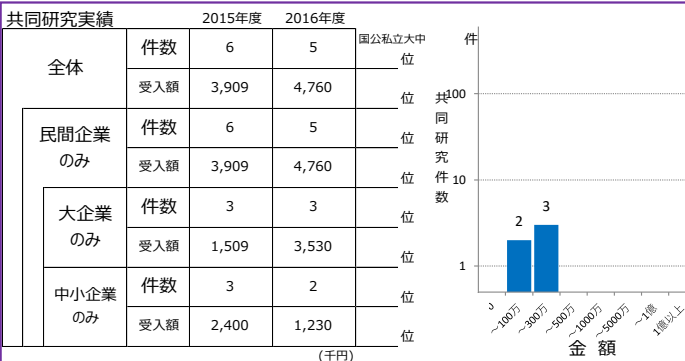
組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	学外連携ボランティア推進室		担当者	武田政宏
口	TEL	0479304581	Email:	renkei@ml.cis.ac.jp	
	産連HP	http://www.cis.ac.jp/research/liason/index.html			
	シーズDB	http://www.cis.ac.jp/research/liason/teacher/pharmacy/			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

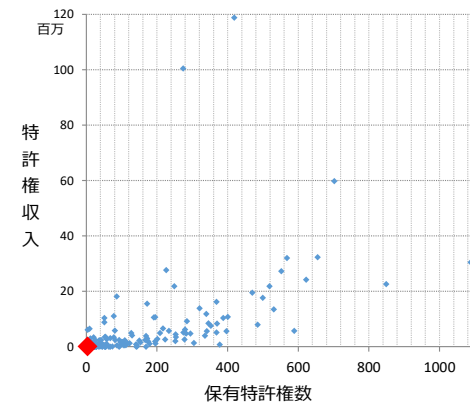
産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 135 人</p> <p>実用化数 0 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>実務者あたり研究者数</p> <p>専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>URAあたり研究者数</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>名</td></tr> </table>	プレアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	及びポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	ポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	名	研究戦略推進支援	名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>CDNあたり研究者数</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td></td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td></td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td></td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td></td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td></td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td></td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)		研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		シーズPR (イベント出展、企業訪問等)		技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)																								
プレアワード	名																																																			
及び研究戦略推進支援	名																																																			
及びポストアワード	名																																																			
及び研究戦略推進支援	名																																																			
ポストアワード	名																																																			
及び研究戦略推進支援	名																																																			
研究戦略推進支援	名																																																			
知財創生 (発明相談、特許出願等)																																																				
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)																																																				
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)																																																				
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)																																																				
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)																																																				
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)																																																				
<p>各種規程類の整備状況</p> <table border="1"> <tr><td>産学連携ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td><td></td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td><td></td></tr> <tr><td>株式の取扱等規程、ポリシー</td><td></td></tr> </table>	産学連携ポリシー		知的財産ポリシー		共同研究取扱規程		受託研究取扱規程		研究成果有体物取扱規程		職務発明規程 (教職員のみ対象)		発明補償関係規程 (教職員、学生)		守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)		守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)		営業秘密管理に関する規程		株式の取扱等規程、ポリシー		<p>産学連携業務分担</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">産学連携業務分担</th> <th colspan="3">担当部署等</th> </tr> <tr> <th>産連本部</th> <th>他部署</th> <th>外部委託</th> </tr> <tr><td>共同研究等の企画・提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	産学連携業務分担	担当部署等			産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案				契約書での成果目標、達成時の明記				共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)				共同研究の進捗管理とフィードバック				企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案					
産学連携ポリシー																																																				
知的財産ポリシー																																																				
共同研究取扱規程																																																				
受託研究取扱規程																																																				
研究成果有体物取扱規程																																																				
職務発明規程 (教職員のみ対象)																																																				
発明補償関係規程 (教職員、学生)																																																				
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																																																				
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																																																				
営業秘密管理に関する規程																																																				
株式の取扱等規程、ポリシー																																																				
産学連携業務分担	担当部署等																																																			
	産連本部	他部署	外部委託																																																	
共同研究等の企画・提案																																																				
契約書での成果目標、達成時の明記																																																				
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																																																				
共同研究の進捗管理とフィードバック																																																				
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案																																																				



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数	0.007
特許保有件数	4		0.030
特許権実施等件数	0	実施等件数あたり	
2016年度に収入のあった権利			
2016年度に有償契約した権利	0		
特許権実施等収入 (千円)	0		



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間

分野横断型共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的 に意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

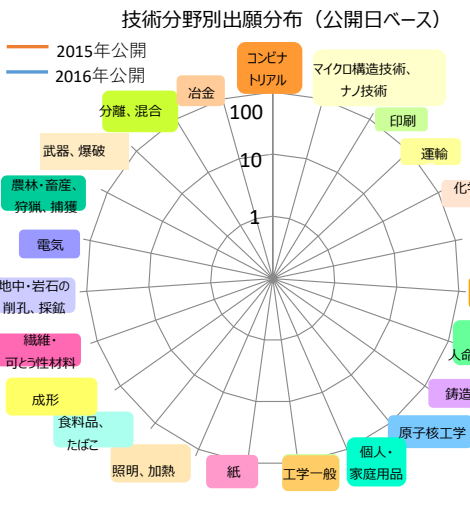
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	1	0	0	0

(参考値)

総出願数に対する割合	1	0	0	0
受入額比	4,760			千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	16	25,220	29,547	14,056			10%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローバ実績	
受入	大学
	企業
派遣	大学
	企業

クローバ規定	
有り	無し
企業とのクローバ	
可能	不可

大学発 ベンチャー数 社	ベンチャー支援体制								
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円

産学連携へのインセンティブ
人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	地域産学交流センター	担当者	佐藤 豊志
口	TEL	0257228110	Email:	career-sangaku@adm.niit.ac.jp
	産連HP	http://www.niit.ac.jp/info/support/center.html		
	シーズDB	http://www.niit.ac.jp/info/teacher/index.html		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

--

--

研究者数 44 人
実用化数 2 件

産学連携担当部署
実務担当者 11 名
実務者あたり研究者数 4 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA
実務担当者 1 名
URAあたり研究者数 44 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 名
CDNあたり研究者数 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担

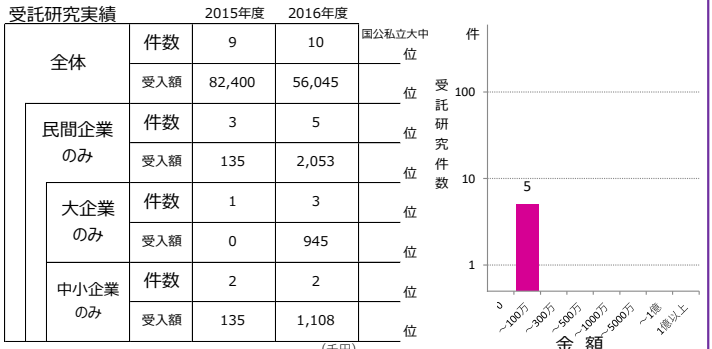
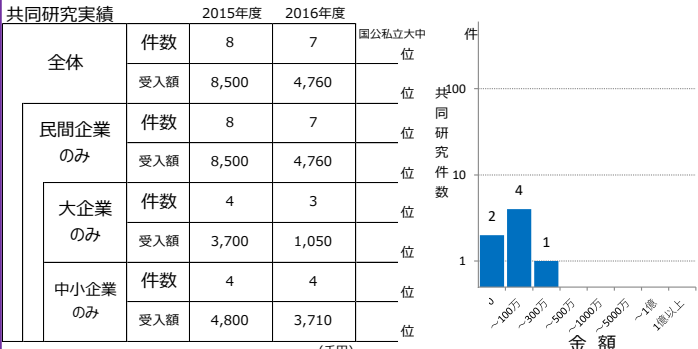
産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	
及びポストアワード	
及び研究戦略推進支援	1
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	
研究戦略推進支援	

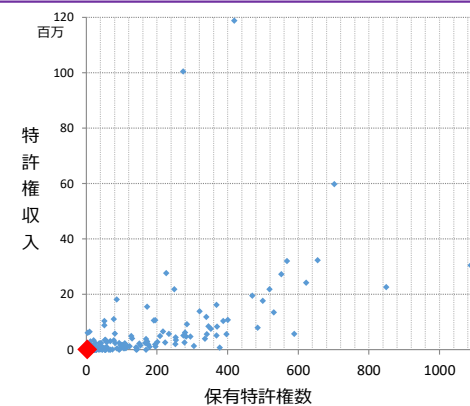
コーディネーター職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	2	研究者あたり件数 0.045
特許保有件数	3	0.068



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究	5	件
マッチングを行い、契約締結した件数	5	件

特許権実施等件数

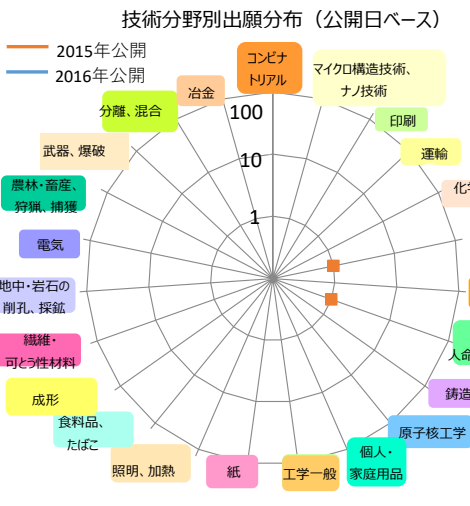
特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)	0	

特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



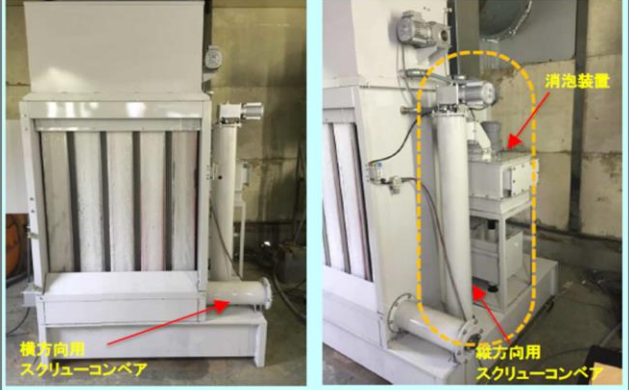
大学の得意分野とその具体例

得意分野	具体例
コンビナトリアル	...
マイクロ構造技術、ナノ技術	...
印刷	...
運輸	...
化学	...
器械	...
機関、ポンプ	...
健康・人命救助・娯楽	...
製造物	...
原子核工学	...
個人・家庭用品	...
工学一般	...
紙	...
照明、加熱	...
成形	...
食品、たばこ	...
繊維・可とう性材料	...
地中・岩石の開孔、探鉱	...
電気	...
武器、爆破	...
農林・畜産、狩猟、捕獲	...

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	11	18,460	49,146	28,336	有り		10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアボ実績		クロアボ規定		
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他		受入	大学	有り	無し
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制			産学連携へのインセンティブ		企業	企業	企業とのクロアボ	
0	社	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	派遣	大学	可能	不可
		有り	無し	有り	件	無し	有り	企業		
					円	無し				

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

低環境負荷な泡を利用する塗装ブースの開発							
本件連絡先							
機関名	新潟工科大学	部署名	地域産学交流センター	TEL	0257-22-8110	E-mail	career-sangaku@adm.niit.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>塗装事業者からの高効率な塗装作業工程の確立。省エネによる低環境負荷塗装事業運営の実現。</p> <p>・成果</p> <p>低コスト・低環境負荷な湿式塗装ブース(泡を利用する塗装ブース)が開発された。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>新潟工科大学の竹園教授のこれまでの消泡シーズを発想の転換により適用したことから、装置の実用的な泡処理プロセスが確立し、装置完成に至った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>新潟にある田辺塗工所から支援機関である新潟IPC財団に、外部資金を活用して低環境負荷塗装ブースを開発したいという要望があった。その際に、消泡プロセスとVOC処理プロセスの提案、実証ができる機関を相談した。そこで、新潟工科大学の竹園教授がその研究シーズを持つということから、研究が開始された。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>消泡プロセスの構築。低環境負荷VOC処理プロセスの高性能化の提案。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>・粉体、溶剤塗料の同一作業ブース使用の実現 ・吸気ファンの小型化等による低消費電力化 ・スラッジの粉末化による廃棄処理経費削減</p>				<p>泡を利用する塗装ブース(小型モデル)</p>  <p>横方向用 スクリューコンベア</p> <p>縦方向用 スクリューコンベア</p> <p>消泡装置</p> <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>経済産業省 サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)</p>			

窓口	担当部署	地域連携	担当者	天野 崇教
TEL	0487211155	Email:	amano@nichiyaku.ac.jp	
産連HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

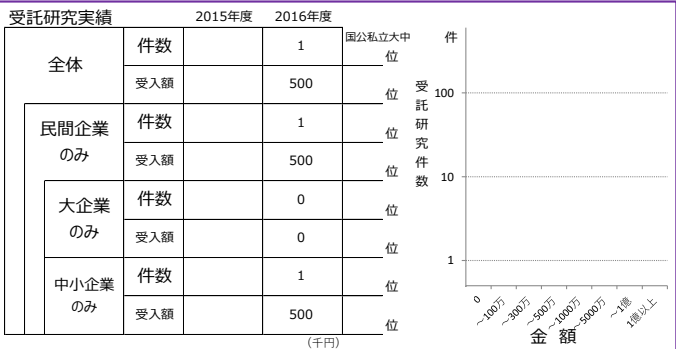
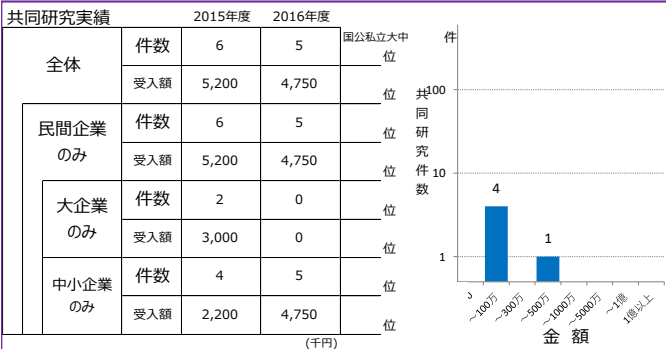
研究者数 実用化数
84 人 件

産学連携担当部署		実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置
実務担当者	4 名	21 名	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他
産学連携業務分担		担当部署等	
共同研究等の企画・提案		産連本部	他 外部委託
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案			

URA		URAあたり研究者数
実務担当者	名	名
URA職務従事状況		
プレアワード	名	
及び研究戦略推進支援	名	
及びポストアワード	名	
及び研究戦略推進支援	名	
ポストアワード	名	
及び研究戦略推進支援	名	
研究戦略推進支援	名	

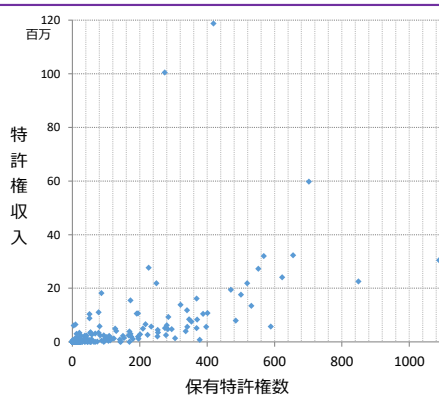
コーディネーター(CDN)		CDNあたり研究者数
実務担当者	名	名
コーディネータ職務従事状況		
知財副生 (発明相談、特許出願等)		
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		
シーズPR (イベント出席、企業訪問等)		
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)		

各種規程類の整備状況
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	
特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	

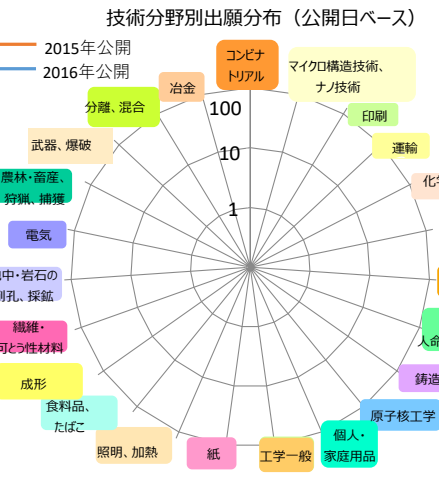


本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的に意見交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数				
総出願数に対する割合				
受入額比				



出願数上位技術分野 (2016年公開)


順位	IPC	分野	件数

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合 10%以上15%未満		
	件数	金額(千円)							
職務発明の所属		不実施補償の扱い				クローブ実績		クローブ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制		産学連携へのインセンティブ		派遣	企業	企業とのクローブ 可能 不可	
社		相談窓口	設立ポリシー 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		大学		
		有り 無し	有り 無し	有り 件 無し	有り 円 無し	人事評価等への反映	企業		
						インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

伊奈町観光商品の新商品開発							
本件連絡先							
機関名	日本薬科大学	部署名	地域連携推進課	TEL	048-721-6249	E-mail	amano@nichiyaku.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>・伊奈町の観光の活性化を図る為、観光商品の新商品開発を行った。</p> <p>・成果</p> <p>・さくらまつりやバラ祭りなどイベントに合わせて販売を行い、生産数(限定1000本)近く売ることが出来た。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>・大学・伊奈町観光協会・コスメサイエンスと2年間意見交換を行った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>・平成26年度より伊奈町・日本薬科大学・いきいき埼玉の三者連携協定の一環として伊奈町観光協会より依頼があった。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>・油分や配合を考える際に、大学側としてどのような物だといいかどうかのアドバイスを求められた。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p>				 <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL http://inakanko.com/publics/index/1/detail=1/c_id=3/page3=1/type014.3_limit=20/#page1.3.51</p>			

本件連絡先							
機関名	日本薬科大学	部署名	総務課	TEL	048-721-1155	E-mail	n-oya@nichiyaku.ac.jp
組織的産学官連携活動における取組方針等							
<p>・大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針</p> <p>地域活性化に向けた特色ある商品の開発及び自治体や関連する地元企業との連携強化。</p>		<p>・産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))</p> <p>天然物資源を活用した漢方薬学系。(ちちぶりのめぐみシリーズなど)</p>		<p>・産学官連携活動について今後重点化したい事項</p> <p>過疎地域の産業振興、地方産業活性化に向けた支援。</p>			

組織的産学官連携活動の取組事例	
ちちぶりのめぐみシリーズ、伊奈町ローズアロマハンドクリームとローションスプレー	
概要	体制図等
<p>ちちぶりのめぐみシリーズに関しては、我が国の林業は、困難な時代を迎えており、秩父地方でも林業は衰退の一途をたどっております。そこで、本学の漢方研究の分野を生かして、秩父山中の森林資源の有効活用を図りました。また、伊奈町ローズアロマハンドクリームとローションスプレーに関しては、平成26年度に結んだ伊奈町・日本薬科大学・いきいき埼玉の三者連携協定の一環として地元・伊奈町の観光の活性化を目指し、観光商品の作成の一助を担った。</p>	

窓口	担当部署	担当者	道本 哲哉
TEL	0726901103	Email:	kenkyus@gly.oups.ac.jp
産連HP	http://www.oups.ac.jp/gakujutsu/sangakukan/index.html		
シースDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

平成29年度に設置予定の産学連携推進室を中心に産学官連携活動を一層推進すると共に知的財産管理体制を整備する。

産学官連携活動について今後重点化したい事項

産学官との連携を一層強化し、さらなる共同研究や受託研究の推進に取り組む。

研究者数 82 人
実用化数 0 件

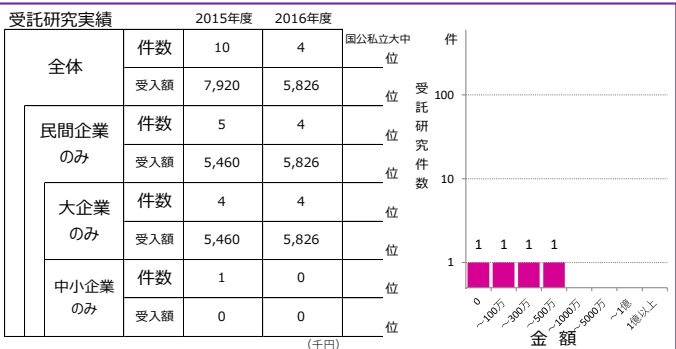
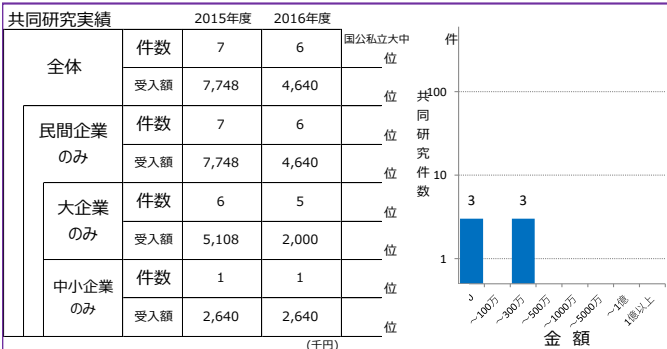
産学連携担当部署	
実務担当者	2 名
実務者あたり研究者数	41 名
専門性を有する者の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他
産学連携業務分担	
共同研究等の企画・提案	
契約書での成果目標、達成時の明記	
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)	
共同研究の進捗管理とフィードバック	
企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案	

URA	
実務担当者	0 名
URAあたり研究者数	
URA職務従事状況	
プレアワード	
及び研究戦略推進支援	
及びポストアワード	
及び研究戦略推進支援	
ポストアワード	
及び研究戦略推進支援	
研究戦略推進支援	

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	0 名
CDNあたり研究者数	
コーディネーター職務従事状況	
知財副生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出席、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

各種規程類の整備状況

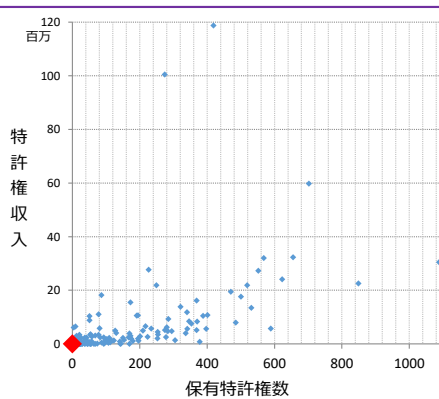
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	2	0.024
特許保有件数	0	0.000

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間

分野横断型 共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的に意見交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究 マッチングを行い、契約締結した件数		件

大学の得意分野とその具体例

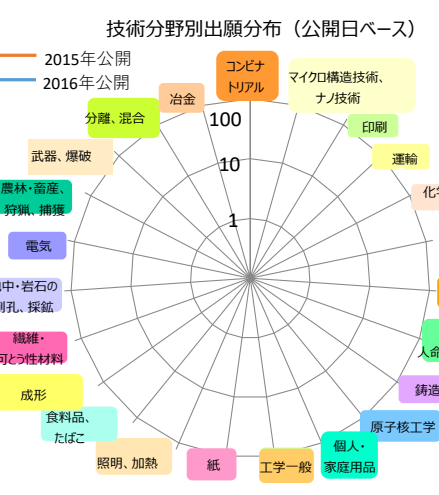
特許出願に関する発明のもととなった研究

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数				

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



該当なし

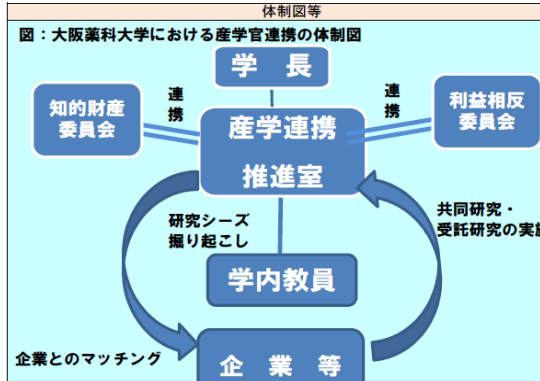
運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	38	37,050	1,500	25,066			

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クオアポ実績		クオアポ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクオアポ
社	相談窓口	設立ポリシー・ 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		人事評価等への反映	企業	可能	不可
	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し	
						インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

ナリルチンを多く含む安全なじゃばら食品の開発							
本件連絡先							
機関名	大阪薬科大学	部署名	臨床教育・研究支援課	TEL	072-690-1103	E-mail	kenkyus@gtv.oups.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>わが国のアレルギー疾患患者数は国民の約40%にまで増加している。抗アレルギー剤として、抗ヒスタミン剤がしばしば使用されるが、眠気や倦怠感などの副作用があるため、生活の質(QOL)の改善が求められている。</p> <p>・成果</p> <p>大阪薬科大学と株式会社ジャバララボラトリーは、共同研究により、柑橘ジャバラ果皮から抗アレルギー用組成物を作る技術の開発に成功した。これにより、抗アレルギー作用のあるナリルチンを、より安全に摂取できるようになった。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>株式会社ジャバララボラトリーの代表が研究生として大阪薬科大学に所属し、二人三脚で研究開発を進めた。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>株式会社ジャバララボラトリーの代表が、大阪薬科大学の卒業生であったため研究開発を開始した。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>研究開発での緊密な連携を求められた。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>収穫期を限定しているため有効成分ナリルチンが高濃度である。 柑橘果実に一般的に含まれている問題物質を低減しているため、安全性が高い。</p>				 <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>平成25年度～27年度 和歌山県先駆的産業技術研究開発支援事業の支援を受けた。</p>			

本件連絡先							
機関名	大阪薬科大学	部署名	臨床教育・研究支援課	TEL	072-690-1103	E-mail	kenkyus@gtv.oups.ac.jp
組織的産学官連携活動における取組方針等							
<p>大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針</p> <p>平成29年度に設置予定の産学連携推進室を中心に産学官連携活動を一層推進すると共に知的財産管理体制を整備する。</p>		<p>産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))</p> <p>該当なし</p>		<p>産学官連携活動について今後重点化したい事項</p> <p>産学官との連携を一層強化し、さらなる共同研究や受託研究の推進に取り組む。</p>			

組織的産学官連携活動の取組事例	
産学官連携活動を促進するための学内体制の整備に向けた取り組み	
概要	体制図等
<p>【取り組み内容】</p> <p>産学官連携を推進し、教育研究活動を通じて蓄積してきた研究成果を広く社会に還元することを目的として、「大阪薬科大学産学官連携ポリシー」及び「大阪薬科大学産学連携推進室規則」の制定を検討した。当該ポリシー及び規則は平成29年度中に制定する見込みである。</p> <p>【立案に注意した点】</p> <p>上記、「大阪薬科大学産学連携推進室規則」に基づき設置する産学連携推進室は、本学において産学官連携に積極的に取り組んでいる4名の教員を配置する方向で検討した。</p> <p>【平成28年度に実施した内容】</p> <p>産学官連携活動を活性化させるため、「産学連携推進室」設置の検討を行った。</p> <p>【成果目標について】</p> <p>本学では、学学連携による共同研究契約の実績はあるが、産学連携の件数が少ない状況にある。今後は、産学官との連携を一層強化し、さらなる共同研究や受託研究の推進に取り組む。</p>	<p>図：大阪薬科大学における産学官連携の体制図</p>  <p>学長</p> <p>知的財産委員会</p> <p>産学連携推進室</p> <p>利益相反委員会</p> <p>学内教員</p> <p>企業等</p> <p>共同研究・受託研究の実施</p> <p>研究シーズ掘り起こし</p> <p>企業とのマッチング</p>

窓	担当部署	リサーチ・イニシアティブセンター	担当者	大井 良介
口	TEL	0339854608	Email:	r-chizai@rikkyo.ac.jp
	産連HP	http://www3.rikkyo.ac.jp/research/initiative/initiative_center/		
	シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 572 人
実用化数 2 件

産学連携担当部署
実務担当者 名
実務者あたり研究者数 名
専門性を有する者の配置
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA
実務担当者 名
URAあたり研究者数 名

コーディネーター(CDN)
実務担当者 名
CDNあたり研究者数 名

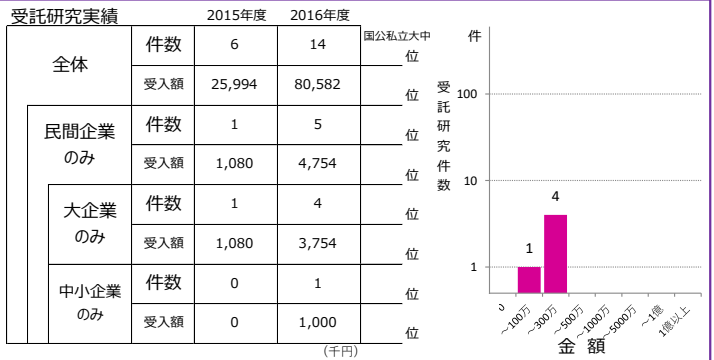
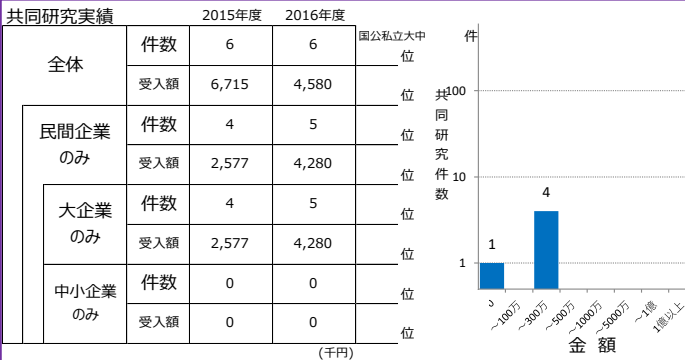
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

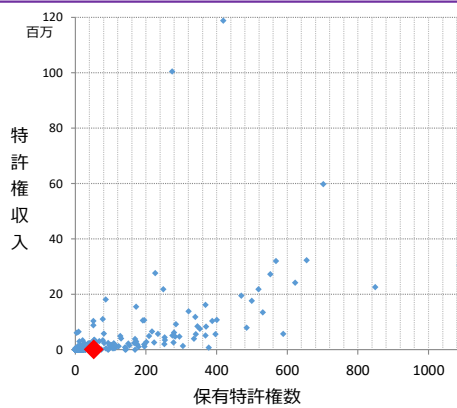
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネータ職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	



2016年度特許出願・活用実績

	件数	研究者あたり件数
特許出願件数	8	0.014
特許保有件数	52	0.091
特許権実施等件数	13	
2016年度に収入のあった権利	1	0.1
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	11	0.8



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究

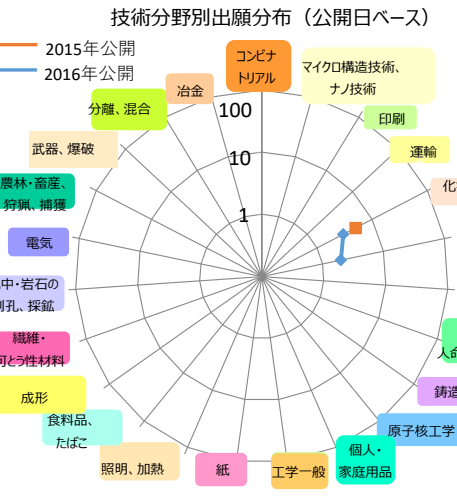
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	3			

(参考値)

総出願数に対する割合	0.375
受入額比	1,527 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C08	有機高分子化合物等	2
2	C09	染料、ペイント、つや出し、天然樹脂、接着剤等	1
2	G01	測定、試験	1
2	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	1



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	211	487,810	94,327	22,988			10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローバ実績		クローバ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制		産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクローバ	
		相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	企業	可能	不可
		有り 無し	有り 無し	有り 件 無し	有り 円 無し	インセンティブ設計無し	企業		

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	社会連携推進課	担当者	阿部 桂子
TEL	0886659953	Email:	sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp	
産連HP	https://www.shikoku-u.ac.jp/cooperation/			
シースDB	https://www.shikoku-u.ac.jp/education/researcher/			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

基本理念四国大学・四国大学短期大学部（以下「本学」といふ。）は、各学部・研究科における教育研究活動の成果を本学の教育に活かすとともに広く社会に還元し、地域産業の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的として、産学官連携活動を推進する。

産学官連携活動について今後重点化したい事項

地域の課題解決を中心として、地域の企業や諸団体と研究の推進に努めたい。

研究者数 179 人
実用化数 1 件

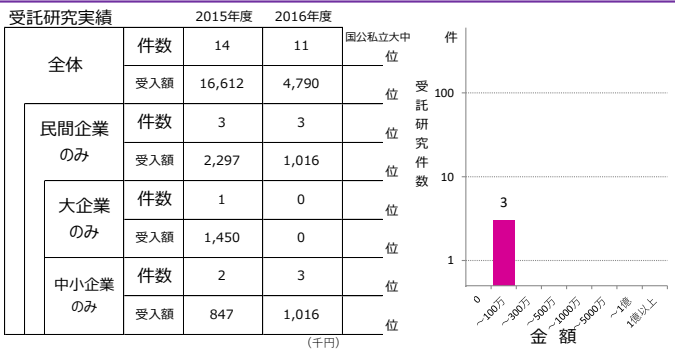
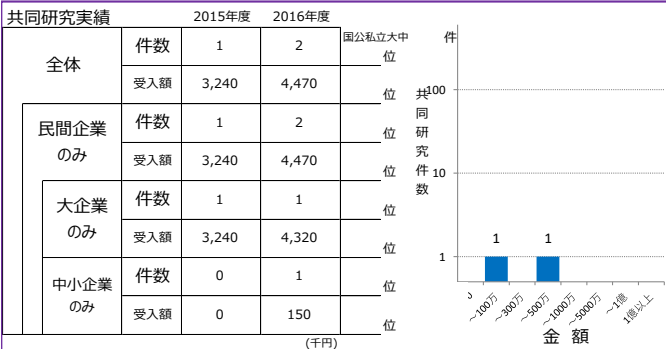
産学連携担当部署	実務者あたり研究者数	90	専門性を有する者の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他
実務担当者	2	名		
産学連携業務分担	担当部署等			
共同研究等の企画・提案	産連本部	他部署	外部委託	
契約書での成果目標、達成時の明記				
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)				
共同研究の進捗管理とフィードバック				
企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案				

URA	実務担当者	0	名	URAあたり研究者数	
URA職務従事状況					
プレアワード	0	名			
及び研究戦略推進支援	0	名			
及びポストアワード	0	名			
及び研究戦略推進支援	0	名			
ポストアワード	0	名			
及び研究戦略推進支援	0	名			
研究戦略推進支援	0	名			

コーディネーター(CDN)	実務担当者	0	名	CDNあたり研究者数	
コーディネータ職務従事状況					
知財副生 (発明相談、特許出願等)					
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)					
シースPR (イベント出席、企業訪問等)					
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)					
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)					
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)					

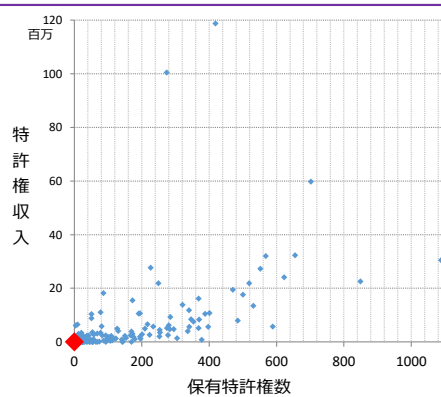
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

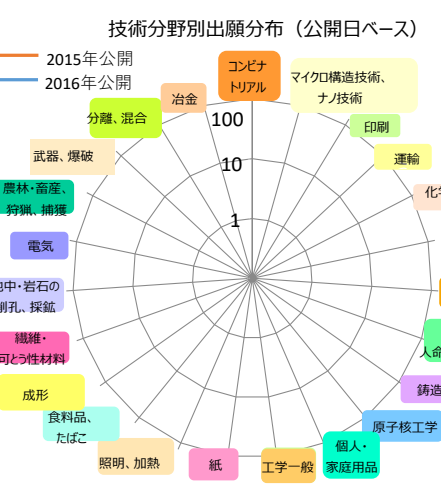
特許出願件数	0	0.000	研究者あたり件数
特許保有件数	0	0.000	
特許権実施等件数	1		実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	0.0	
2016年度に有償契約した権利	0	0.0	
特許権実施等収入 (千円)	0	0.0	



本格的な共同研究	平均(目安)交渉期間	3ヶ月
分野横断型共同研究	_____ 件	
大学役員等と定期的に意見交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究	0	件
マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
件数	共同研究	受託研究	補助金 寄附金
(参考値)			
総出願数に対する割合			
受入額比			千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数







大学の得意分野とその具体例
本学は、地域とともに歩み、開かれた大学を目指し、全学的な課題として産学官連携活動に取り組んでいる。

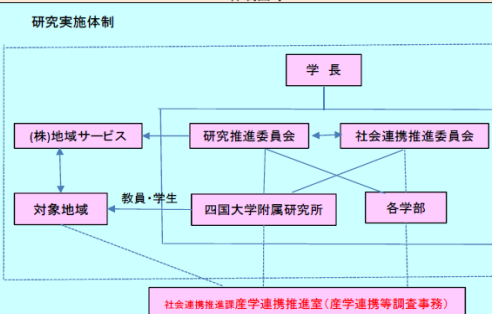
運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	21	30,320	3,774	5,486	有り		10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローバ実績		クローバ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクローバ
0 社	相談窓口	設立前/シニア 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		人事評価等への反映	企業	可能	不可
	有り 無し	有り 無し	有り 無し	有り 無し	円 無し	インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

美波町特産のひじきを使ったパン作りと商品化への挑戦							
本件連絡先							
機関名	四国大学	部署名	社会連携推進課	TEL	088-665-9953	E-mail	sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>美波町は徳島県南部に位置し、四国八十八ヶ所産場第二十三番札所の美王寺に参拝する道路が訪れる門前町であり、その美王寺の斜め前に県南部の中核観光ゾーンである道の駅「日和佐」がある。地元の特産物を使った商品開発により、道の駅「日和佐」の活性化につながることを期待する。</p> <p>・成果</p> <p>四国大学短期大学部食物栄養専攻の学生グループ「食采ふぁくとリー」と道の駅「日和佐」との連携により、美波町特産の『ひじき』を使ったパンのオリジナルレシピ開発に取り組んだ結果、『ひじきパン』2種の商品化に至った。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>平成27年度から開始された「食采ふぁくとリー」の継続的な取り組みであり、四国大学キャンパスにおける2回の試食会、美波町商工祭における試食会及び嗜好調査を実施した。嗜好調査の集計、栄養価計算、価格設定を行い、道の駅「日和佐」へ報告・提案を行った。さらに、日和佐うみがめまつり(平成28年7月16日)において、『ひじきパン』の試験販売を行った。当日は、四国大学キャンパスで焼き上げた『ひじきパン』2種(カレーパン、ピザパン)を会場に持ち込んでの試験販売となった。そして、美波町のカフェ「初花」による『ひじきパン』製造、道の駅「日和佐」における販売が決定した。(販売は、平成28年4月より開始)</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>道の駅「日和佐」から、美波町の特産物を活用した地域色あふれる商品開発の依頼があり、四国大学短期大学部食物栄養専攻の学生グループ「食采ふぁくとリー」が取り組むことになった。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>道の駅「日和佐」の活性化につながる商品の開発を希望していることが示された。その後数回の打ち合わせの中で、美波町の特産物『ひじき』を使用したパンという方向性が明確となり、それに基づいたオリジナルレシピ開発が求められた。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>学生たちのアイデアや積極的な取り組みによって、美波町の産物である『ひじき』をたっぷり使った『ひじきパン』のオリジナルレシピ開発となった。</p>				  <p>四国大学キャンパスにおける『ひじきパン』の試食会</p> <p>日和佐うみがめまつりでの試験販売のため四国大学キャンパスにおける『ひじきパン』製造</p>   <p>日和佐うみがめまつりにおける「食采ふぁくとリー」によるの試験販売</p> <p>道の駅「日和佐」における『ひじきパン』販売</p>			
<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p>							

本件連絡先							
機関名	四国大学	部署名	社会連携推進課	TEL	088-665-9953	E-mail	sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp
組織的産学官連携活動における取組方針等							
<p>・大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針</p> <p>基本理念</p> <p>四国大学・四国大学短期大学部(以下「本学」という。))は、各学部・研究科における教育研究活動の成果を本学の教育に活かすとともに広く社会に還元し、地域産業の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的として、産学官連携活動を推進する。</p>		<p>・産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果・特許等)</p> <p>本学は、地域とともに歩み、開かれた大学を目指し、全学的な課題として産学官連携活動に取り組んでいる。</p>			<p>・産学官連携活動について今後重点化したい事項</p> <p>地域の課題解決を中心として、地域の企業や諸団体と研究の推進に努めたい。</p>		

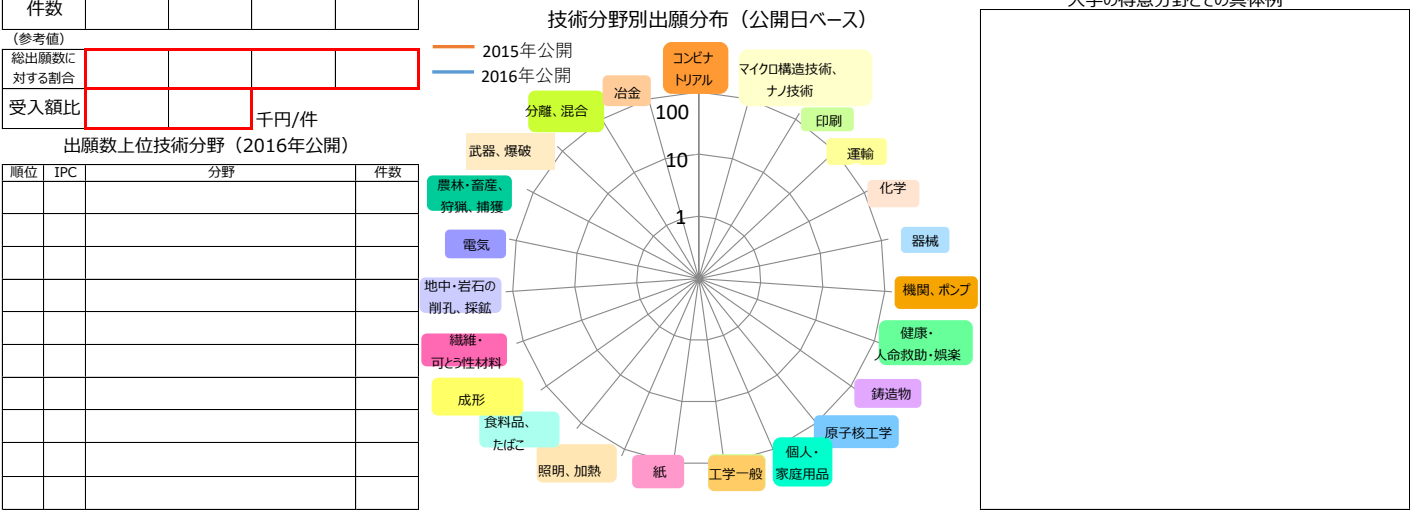
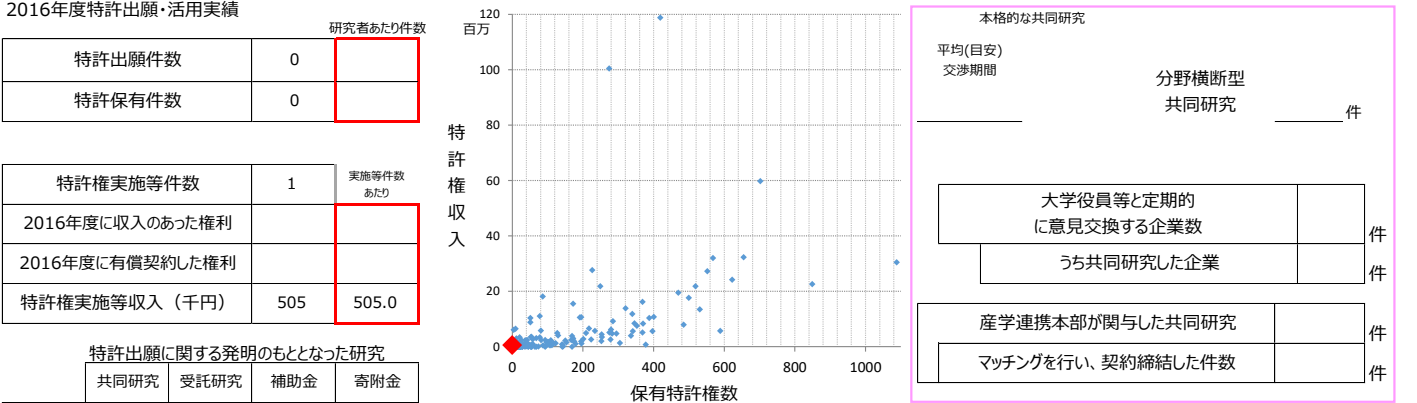
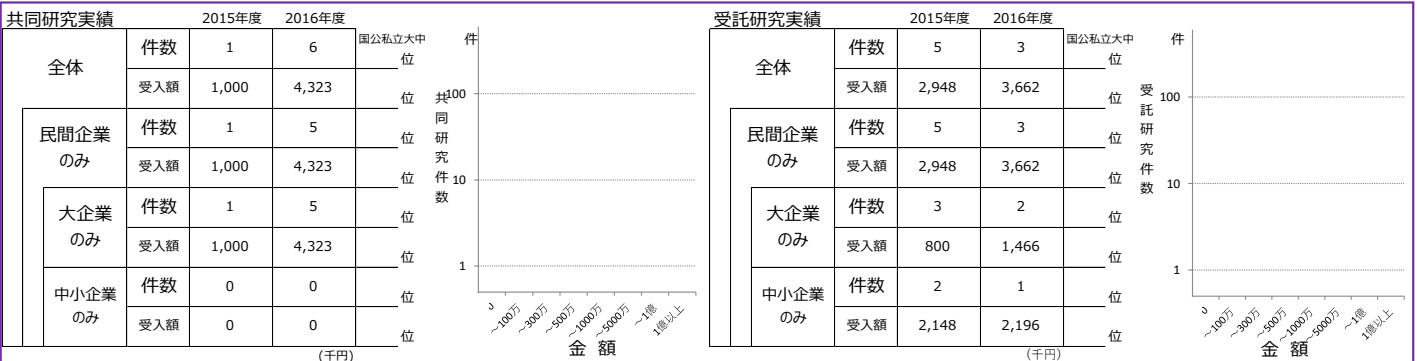
組織的産学官連携活動の取組事例	
剣山系山間部に暮らす人々の「幸せ指数」調査研究	
概要	体制図等
<p>・本取組を実施することになったきっかけ、要因</p> <p>面積のおよそ8割が山地である徳島において、山間部の過疎問題が深刻化している中、四国大学と隣地域サービスの共同研究契約(平成27年10月15日から平成29年3月17日)に基づき「徳島山間部における過疎化対策の研究」を実施した。</p> <p>・本取組の目的(どのような課題解決を目指しているか)</p> <p>徳島県西部の山間部、特に山上傾斜地集落の独特な暮らしや農法について現状を調査し、各集落におけるニーズを研究し、今後の過疎研究に役立てる。</p> <p>・本取組を立案する際に、特に注意した点</p> <p>山間部の現状を正確に判断するため、現地調査、現場での聞き取り、アンケート調査を実施し、現場の実態に基づきよう注意した。</p> <p>・平成28年度に実施した内容</p> <p>徳島県西部(那賀町、美馬市、つるぎ町、三好市)の各山間部の集落を現地調査(聞き取り、写真撮影、農時記など町史・村史確認)した。</p> <p>・従来の取組みとの違いや特徴</p> <p>現地調査、アンケートだけでなく、祭りやボランティア活動への学生参加を実施した。</p>	 <p>研究実施体制</p> <p>学長</p> <p>(株)地域サービス</p> <p>研究推進委員会</p> <p>社会連携推進委員会</p> <p>対象地域</p> <p>教員・学生</p> <p>四国大学附属研究所</p> <p>各学部</p> <p>社会連携推進課産学連携推進室(産学連携等調査事務)</p>

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置 <small>弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</small></p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネータ職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名																												
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	研究推進センター	担当者	植田由香
口	TEL	0426919492	Email:	researchpromotion@soka.ac.jp
産運HP	http://www.soka.ac.jp/research/regional			
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 332 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 2 名</p> <p>実務者あたり研究者数 166 名</p> <p>専門性を有する者の配置 弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名																												
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												

共同研究実績		2015年度		2016年度		国公立大中位
全体	件数	3	4	件数	3	
民間企業のみ	件数	2	4	件数	2	
	受入額	2,280	4,280	受入額	2,280	
	大企業のみ	件数	2	2	件数	0
	受入額	2,280	2,280	受入額	0	
中小企業のみ	件数	0	2	件数	0	
受入額	0	2,000	受入額	0		

受託研究実績		2015年度		2016年度		国公立大中位
全体	件数	6	12	件数	6	
民間企業のみ	件数	1	2	件数	1	
	受入額	112	10,908	受入額	112	
大企業のみ	件数	0	0	件数	0	
受入額	0	0	受入額	0		
中小企業のみ	件数	1	2	件数	1	
受入額	112	10,908	受入額	112		

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	2	研究者あたり件数 0.006
特許保有件数	23	0.069

特許権実施等件数	9	実施等件数あたり 1.0
2016年度に収入のあった権利	9	
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	127	14.1

本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 3ヶ月

分野横断型 共同研究 _____ 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

大学の得意分野とその具体例

特許出願に関する発明のもととなった研究

共同研究	受託研究	補助金	寄附金
_____ 件	_____ 件	1 件	_____ 件

(参考値)

総出願数に対する割合	0.5
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
2	A23	食品・食料品等	1

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアボ実績		クロアボ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクロアボ
2 社	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設		支援ファンド		大学	可能	不可
	有り	無し	有り	1 件	無し	有り	企業		
						円			

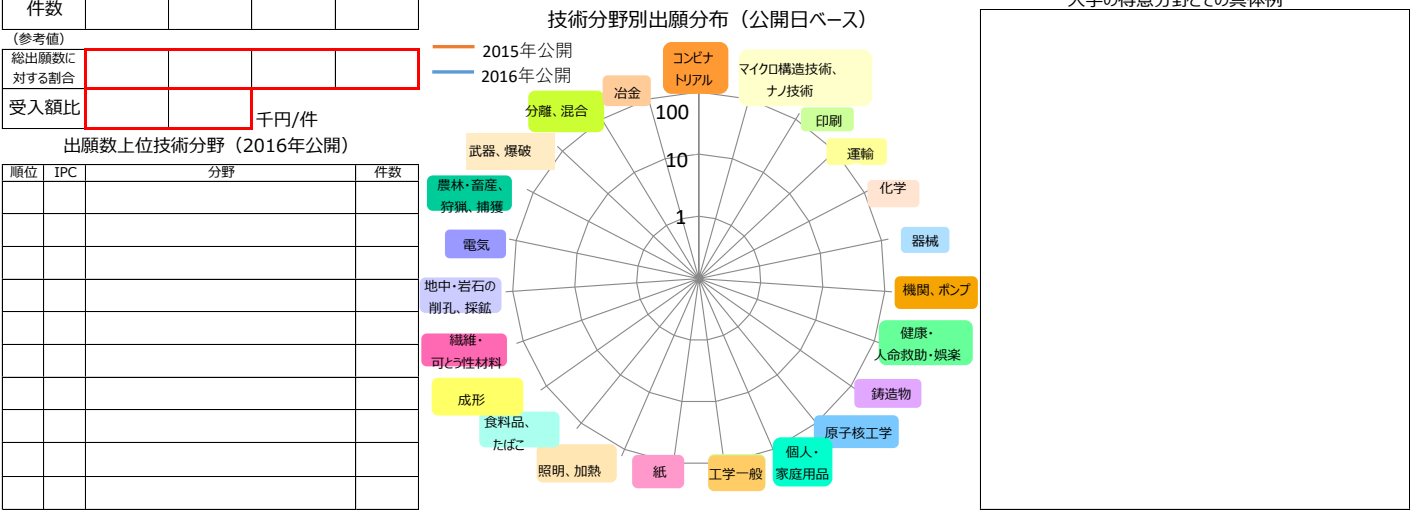
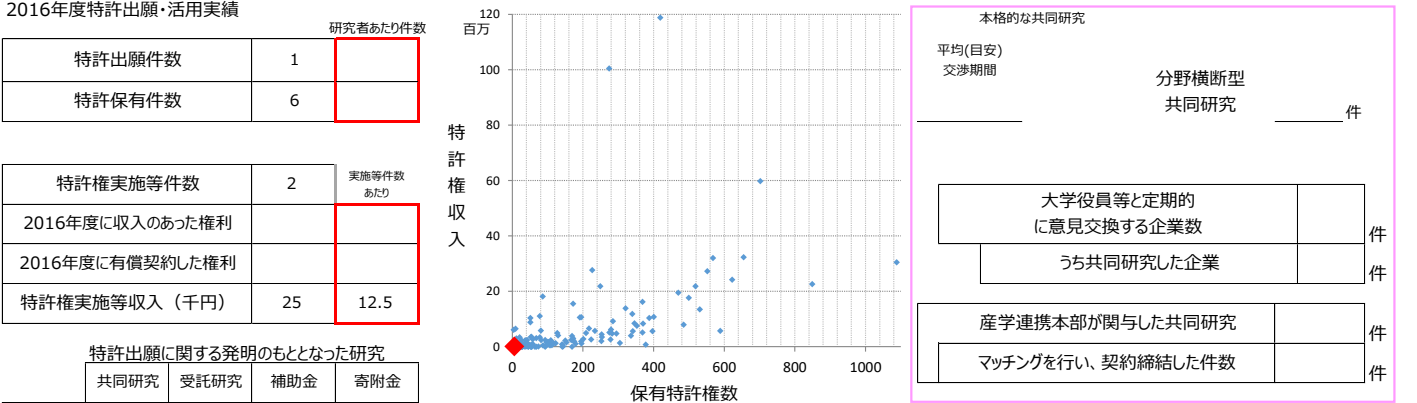
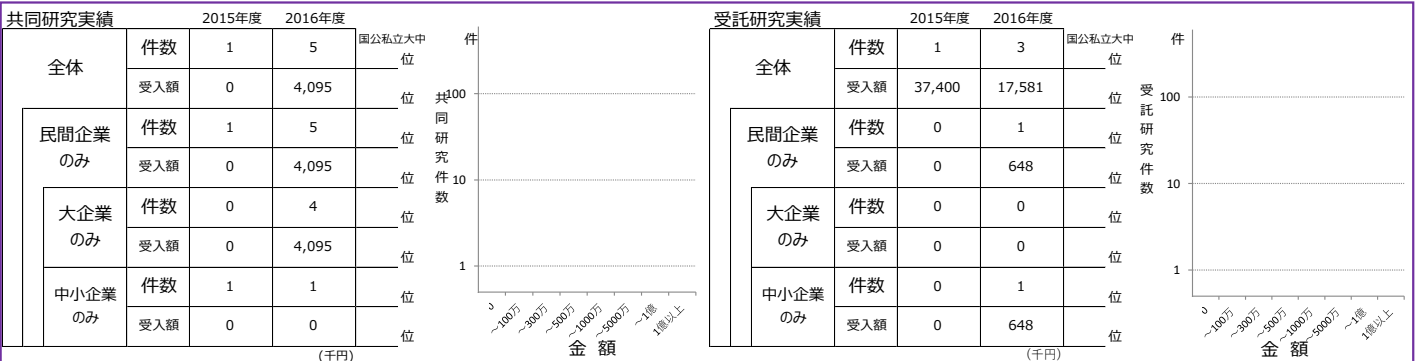
組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置 <small>弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他</small></p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>プレアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名																												
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローバ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローバ規定

有り	無し
企業とのクローバ	
可能	不可

大学発
ベンチャー数
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例